

財務諸表等

令和2年度

(第10期事業年度)

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

目 次

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
損失の処理に関する書類	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7
附属明細書	
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細	11
(2) たな卸資産の明細	12
(3) 長期借入金の明細	12
(4) 移行前地方債償還債務の明細	13
(5) 引当金の明細	14
(6) 資本金の明細	14
(7) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	15
(8) 地方公共団体等からの財源措置の明細	15
(9) 役員及び職員の給与の明細	16
(10) 開示すべきセグメント情報	17
(11) 医業費用及び一般管理費の明細	18
(12) 上記以外の主な資産, 負債, 費用及び収益の明細	19
添付資料	
決算報告書	(別冊)
業務実績報告書	(別冊)
参考資料	
病院別貸借対照表・損益計算書	(別冊)

財 務 諸 表

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		1,303,590,000
建物	9,721,840,752	
建物減価償却累計額	<u>4,231,152,774</u>	5,490,687,978
構築物	202,110,727	
構築物減価償却累計額	<u>112,267,776</u>	89,842,951
器械備品	6,375,064,433	
器械備品減価償却累計額	4,840,322,129	1,534,742,304
車両	11,972,714	
車両減価償却累計額	<u>6,637,898</u>	5,334,816
建設仮勘定		180,598,868
その他有形固定資産		<u>2,450,000</u>
有形固定資産合計		8,607,246,917
2 無形固定資産		
ソフトウェア		212,913,883
電話加入権		<u>578,000</u>
無形固定資産合計		213,491,883
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		297,097,241
その他		<u>111,930</u>
投資その他の資産合計		297,209,171
固定資産合計		9,117,947,971
II 流動資産		
現金及び預金		1,112,178,293
有価証券		0
医業未収金	1,982,988,920	
貸倒引当金	<u>△ 30,225,473</u>	1,952,763,447
未収金	137,200,747	
貸倒引当金	<u>△ 2,165,710</u>	135,035,037
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	63,367,799	
診療材料	61,211,483	
その他貯蔵品	<u>5,130,264</u>	129,709,546
前払金		280,800
その他流動資産		<u>159,596,170</u>
流動資産合計		3,489,563,293
資産合計		<u>12,607,511,264</u>

貸借対照表
(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	86,098,309	
資産見返寄附金	22,166,608	
資産見返物品受贈額	<u>4,626,095</u>	112,891,012
長期借入金		3,956,393,903
移行前地方債償還債務		1,176,583,730
引当金		
退職給付引当金	<u>4,926,460,423</u>	4,926,460,423
長期リース債務		<u>73,282,660</u>
固定負債合計		10,245,611,728
II 流動負債		
運営費負担金債務		15,723,976
寄附金債務		12,737,096
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		590,121,914
1年以内返済予定長期借入金		598,140,825
医業未払金		1,079,835,208
未払金		239,835,803
1年以内支払予定リース債務		70,078,820
未払消費税等		5,842,600
前受金		207,035,144
預り金		113,751,108
引当金		
賞与引当金		<u>411,498,791</u>
流動負債合計		<u>3,344,601,285</u>
負債合計		13,590,213,013
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金		<u>160,235,890</u>
資本金合計		<u>160,235,890</u>
II 繰越欠損金		
当期末処理損失		<u>△ 1,142,937,639</u>
(うち当期総利益)		(△ 88,095,341)
繰越欠損金合計		<u>△ 1,142,937,639</u>
純資産合計		<u>△ 982,701,749</u>
負債純資産合計		<u>12,607,511,264</u>

損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	7,053,230,192	
外来収益	4,396,071,793	
その他医業収益	386,662,839	11,835,964,824
運営費負担金収益		2,538,801,382
補助金等収益		190,660,274
寄附金収益		517,104
資産見返運営費負担金戻入		753,881,000
資産見返補助金等戻入		12,899,981
資産見返寄附金戻入		6,516,297
資産見返物品受贈額戻入		1,496,356
その他営業収益		140,000
営業収益合計		15,340,877,218
営業費用		
医業費用		
給与費	7,100,662,604	
材料費	4,136,266,589	
経費	2,164,721,874	
減価償却費	1,035,009,209	
研究研修費	128,343,328	14,565,003,604
一般管理費		
給与費	142,627,645	
経費	22,165,682	
減価償却費	21,517,492	186,310,819
取得財産に係る控除対象外消費税償却		57,684,858
控除対象外消費税(消費税損失)		619,218,870
営業費用合計		15,428,218,151
営業利益		△ 87,340,933
営業外収益		
運営費負担金収益	96,664,000	
寄附金収益	517,000	
その他営業外収益	63,099,627	160,280,627
営業外収益合計		160,280,627
営業外費用		
財務費用	85,676,246	
その他営業外費用	75,591,020	161,267,266
営業外費用合計		161,267,266
経常利益		△ 88,327,572
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	232,296	
臨時利益合計		232,296
臨時損失		
固定資産除却損	65	
臨時損失合計		65
当期純損失		△ 88,095,341
当期総損失		△ 88,095,341

キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	△ 4,638,707,529
人件費支出	△ 7,265,799,444
その他業務支出	△ 2,543,228,945
医業収入	11,812,567,712
運営費負担金収入	2,651,189,358
補助金等収入	81,534,693
寄附金収入	2,050,000
その他業務収入	205,227,173
小計	304,833,018
利息受取額	0
利息支払額	△ 85,676,246
業務活動によるキャッシュ・フロー	219,156,772
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	0
定期預金の預入による支出	0
有形固定資産の取得による支出	△ 793,264,811
有形固定資産の売却による収入	0
有価証券の償還による収入	0
運営費負担金収入	753,881,000
補助金の受入による収入	15,074,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,309,510
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	1,000,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,000,000,000
長期借入金による収入	814,100,000
長期借入金の返済による支出	△ 517,812,289
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 611,298,822
リース債務の返済による支出	△ 91,443,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 406,454,687
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 211,607,425
V 資金期首残高	1,323,785,718
VI 資金期末残高	1,112,178,293

損失の処理に関する書類

【地方独立行政法人 宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 当期未処理損失	△ 1,142,937,639
当期総損失	△ 88,095,341
前期繰越欠損金	△ 1,054,842,298
II 損失処理額	0
III 次期繰越欠損金	<u>△ 1,142,937,639</u>

行政サービス実施コスト計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1)損益計算書上の費用			
医業費用	14,565,003,604		
一般管理費	186,310,819		
取得財産に係る控除対象外消費税償却	57,684,858		
控除対象外消費税(消費税損失)	619,218,870		
営業外費用	161,267,266		
臨時損失	65	15,589,485,482	
(2)(控除)自己収入等			
医業収益	△ 11,783,190,125		
寄付金収益	△ 1,034,104		
臨時利益	△ 232,296		
その他収益	△ 69,755,924	△ 11,854,212,449	
業務費用合計			3,735,273,033
(うち減価償却費充当補助金相当額)			(768,277,337)
II 引当外退職給付増加見積額	7,963,500		7,963,500
III 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	192,283		
無利子又は通常より有利な条件 による融資取引の機会費用	12,750,000		12,942,283
IV 行政サービス実施コスト			3,756,178,816

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

- 1 運営費負担金収益の計上基準
期間進行基準を採用しております。
ただし、移行前地方債利息等については費用進行基準を採用しております。
- 2 減価償却の会計処理方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物	4年～39年
構築物	3年～37年
機器備品	2年～21年
車両	2年～6年
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間に基づいて償却しております。
- 3 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準
役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。
過去勤務費用は、その発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における役職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。
- 4 貸倒引当金の計上基準
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- 5 賞与引当金の計上基準
役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。
- 6 たな卸資産の評価基準及び評価方法
医薬品、診療材料及び貯蔵品とも、最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
- 7 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
 - (1) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の令和3年3月末における利回りを参考に0.12%で計算しております。
 - (2) 政府又は地方公共団体の無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率
宮城県からの無利子の短期借入金については、市中金融機関からの借入利息1.275%にて計算しております。

9 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 金融商品関係の時価等に関する事項

1 金融商品関係の状況に関する事項

当法人の資金運用は、預金並びに国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については設立団体からの借入により資金を調達しております。

未収債権等に係る回収リスクは、未収金取扱要領に沿ってリスク低減を図っており、借入金等の使途は運転資金（主として短期借入金）及び事業投資資金（長期）であり、設立団体の長により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

2 金融商品関係の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	1,112,178,293	1,112,178,293	—
(2) 未 収 金	2,120,189,667	2,120,189,667	—
(3) 長期借入金	(4,554,534,728)	(4,642,188,365)	(87,653,637)
(4) 移行前地方債 償還債務	(1,766,705,644)	(1,893,617,822)	(126,912,178)
(5) 未 払 金	(1,319,671,011)	(1,319,671,011)	—
(6) リース債務	(143,361,480)	(143,355,439)	(△ 6,041)

(注1) 負債で計上されているものは()で表示しております。

(注2) 金融商品の時価の算出方法

- ・ (1)現金及び預金、(2)未収金、(5)未払金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
- ・ (3)長期借入金、(4)移行前地方債償還債務、(6)リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。
なお、長期借入金及び移行前地方債償還債務には、1年以内返済予定の金額を、リース債務には、1年以内支払予定の金額を含めて記載しております。
また、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

III キャッシュ・フロー計算書関係

- 1 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 1,112,178,293 円
現金及び預金勘定のうち定期預金 0 円
資金期末残高 1,112,178,293 円
- 2 重要な非資金取引
ファイナンス・リースによる資産の取得 3,610,200 円

V オペレーティング・リース取引関係 該当ありません。

VI 固定資産の減損関係

- 1 固定資産のグルーピングの方法
当法人においては、継続的に収支の把握を行っている各病院単位を1つの資産グループとして取り扱っております。

2 共用資産の取扱い

- (1) 共用資産の概要 (単位：円)

名称	場所	固定資産額
法人本部	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1	117,558,903

- (2) 共用資産の取扱いの方法

共用資産に係る減損の兆候の把握等は、2病院に法人本部を加えた機構全体で行います。

- 3 減損の兆候が認められた固定資産
該当事項はありません。

VII 退職給付関係

1 採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しております。当該制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

2 確定給付制度

- (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	4,843,560,340 円
勤務費用	312,072,326 円
利息費用	40,309,533 円
数理計算上の差異の当期発生額	△ 58,621,626 円
退職給付の支払額	△ 222,748,834 円
期末における退職給付債務	4,914,571,739 円

- (2) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の末積立退職給付債務	4,914,571,739 円
未認識数理計算上の差異	△ 103,888,160 円
未認識過去勤務費用	115,776,844 円
退職給付引当金	4,926,460,423 円

(3) 退職給付に関連する損益

勤務費用	312,072,326 円
利息費用	40,309,533 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 20,859,586 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	△ 14,914,899 円
合計	316,607,374 円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）
割引率 0.80%

VII 賃貸等不動産関係

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

IX 資産除去債務

該当事項はありません。

X 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位：円)

契約内容	病院名	契約金額	翌事業年度以降の支払金額
ESCO事業契約 (H30～R5)	がんセンター	248,346,000	124,740,000
医事業務 (H31～R3)	がんセンター	402,765,090	134,663,100
画像診断装置保守 点検業務(H31～R3)	がんセンター	189,504,000	62,208,000
トモセラピーシス テム保守点検業務 (H31～R3)	がんセンター	113,505,000	37,950,000
リニアック保守点 検業務(H31～R3)	がんセンター	151,587,408	49,761,216
物品・薬品管理業 務 (R2～R4)	がんセンター	154,539,000	103,026,000
中央材料室滅菌業 務 (R2～R4)	がんセンター	142,560,000	95,040,000
建物総合管理業務 (R2～R4)	がんセンター	573,705,000	382,470,000

XI 重要な後発事象

該当事項はありません。

財 務 諸 表

(附屬明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額		差引当期未残高	摘要
						当期償却額	前期償却額		
有形固定資産 (償却費損益内)									
建物	9,567,452,220	154,388,532	0	9,721,840,752	4,231,152,774	454,019,053		5,490,687,978	
構築物	202,110,727	0	0	202,110,727	112,267,776	12,198,400		89,842,951	
器械備品	6,012,909,111	433,239,880	71,084,558	6,375,064,433	4,840,322,129	507,419,019		1,534,742,304	
車両	11,972,714	0	0	11,972,714	6,637,898	1,665,539		5,334,816	
計	15,794,444,772	587,628,412	71,084,558	16,310,988,626	9,190,380,577	975,302,011		7,120,608,049	
有形固定資産 (償却費損益外)									
建物									
構築物									
計									
非償却資産									
土地	1,303,590,000	0	0	1,303,590,000				1,303,590,000	
建設仮勘定	0	180,598,868	0	180,598,868				180,598,868	
その他有形固定資産	2,450,000	0	0	2,450,000				2,450,000	
計	1,306,040,000	180,598,868	0	1,486,638,868				1,486,638,868	
土地	1,303,590,000	0	0	1,303,590,000				1,303,590,000	
建物	9,567,452,220	154,388,532	0	9,721,840,752	4,231,152,774	454,019,053		5,490,687,978 (注1)	
構築物	202,110,727	0	0	202,110,727	112,267,776	12,198,400		89,842,951	
器械備品	6,012,909,111	433,239,880	71,084,558	6,375,064,433	4,840,322,129	507,419,019		1,534,742,304 (注2)	
車両	11,972,714	0	0	11,972,714	6,637,898	1,665,539		5,334,816	
建設仮勘定	0	180,598,868	0	180,598,868				180,598,868 (注3)	
その他有形固定資産	2,450,000	0	0	2,450,000				2,450,000	
計	17,100,484,772	768,227,280	71,084,558	17,797,627,494	9,190,380,577	975,302,011		8,607,246,917	
ソフトウェア	741,248,000	71,405,000	0	812,653,000	599,739,117	81,224,690		212,913,883 (注4)	
電話加入権	578,000	0	0	578,000				578,000	
計	741,826,000	71,405,000	0	813,231,000	599,739,117	81,224,690		213,491,883	
長期前払消費税	640,257,710	83,246,137	0	723,503,847	426,406,606	57,684,858		297,097,241	
その他投資資産	111,930	0	0	111,930				111,930	
計	640,369,640	83,246,137	0	723,615,777	426,406,606	57,684,858		297,209,171	

(注1) 当期増加額は、精神医療センターの大規模修繕事業(83,401,132円)、がんセンターの大規模修繕事業(60,105,000円)等によるものです。

(注2) 当期増加額は、がんセンターの注射薬自動抽出システムの更新(97,300,000円)、手術顕微鏡の更新(64,500,000円)等によるものです。

当期減少額は、がんセンターにおいて、生体情報モニタリングシステム等を削除したことによるものです。

(注3) 当期増加額は、精神医療センターの大規模修繕の繰越分(156,598,868円)等によるものです。

(注4) 当期増加額は、本部事務局の勤務管理・人事給与システムの導入(67,315,000円)等によるものです。

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額			当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他(注)			
医薬品	68,570,056	3,586,605,574	0	3,586,966,325	4,841,506	63,367,799		
診療材料	47,804,962	557,336,879	0	540,844,274	3,086,084	61,211,483		
貯蔵品	2,928,989	81,403,042	0	79,201,767	0	5,130,264		
計	119,304,007	4,225,345,495	0	4,207,012,366	7,927,590	129,709,546		

(注)当期減少額のうち他には、期限切れにより廃棄又は滅失した資産を記載しております。

(3) 長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
平成23年度 災害復旧貸付金	3,956,608	—	1,971,392	1,985,216	0.700%	令和4年3月1日	
施設整備事業貸付金	5,375,000	—	2,687,500	2,687,500	0.830%	令和4年3月28日	
施設整備事業貸付金	417,956,000	—	18,172,000	399,784,000	1.500%	令和25年3月30日	
施設整備事業貸付金	473,601,599	—	16,730,188	456,871,411	1.400%	令和26年3月20日	
施設整備事業貸付金	125,200,000	—	4,322,129	120,877,871	1.200%	令和27年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	66,600,350	—	66,600,350	0	0.072%	令和3年3月29日	
施設整備事業貸付金	158,200,000	—	0	158,200,000	0.500%	令和28年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	376,207,460	—	188,103,730	188,103,730	0.068%	令和4年3月29日	
施設整備事業貸付金	371,500,000	—	0	371,500,000	0.600%	令和29年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	170,850,000	—	56,950,000	113,900,000	0.084%	令和5年3月29日	
施設整備事業貸付金	289,800,000	—	0	289,800,000	0.400%	令和30年3月29日	
医療機械器具整備事業貸付金	649,100,000	—	162,275,000	486,825,000	0.084%	令和6年3月27日	
施設整備事業貸付金	66,200,000	—	0	66,200,000	0.224%	令和31年3月29日	
施設整備事業貸付金	54,200,000	—	0	54,200,000	0.400%	令和31年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	544,000,000	—	0	544,000,000	0.084%	令和7年3月27日	
施設整備事業貸付金	464,000,000	—	0	464,000,000	0.146%	令和32年3月28日	
施設整備事業貸付金	21,500,000	—	0	21,500,000	0.002%	令和8年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	0	404,800,000	0	404,800,000	0.084%	令和8年3月26日	
医療機械器具整備事業貸付金	0	48,300,000	0	48,300,000	0.084%	令和8年3月26日	
施設整備事業貸付金	0	241,800,000	0	241,800,000	0.210%	令和33年3月27日	
施設整備事業貸付金	0	119,200,000	0	119,200,000	0.500%	令和33年3月20日	
計	4,258,247,017	814,100,000	517,812,289	4,554,534,728	—	—	

(4) 移行前地方債償還債務の明細

(単位:円)

銘 柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
大蔵省資金運用部	1,034,222,562	—	329,850,225	704,372,337	4.400%	令和5年3月25日	
大蔵省資金運用部	79,894,852	—	18,903,424	60,991,428	3.650%	令和6年3月1日	
大蔵省資金運用部	40,857,507	—	4,741,658	36,115,849	2.100%	令和10年3月1日	
大蔵省資金運用部	146,193,473	—	14,919,812	131,273,661	2.100%	令和11年3月1日	
大蔵省資金運用部	23,171,876	—	2,364,812	20,807,064	2.100%	令和11年3月1日	
公営企業金融公庫	135,175,814	—	12,225,913	122,949,901	2.200%	令和12年3月20日	
財務省財政融資資金	37,270,141	—	2,745,864	34,524,277	2.200%	令和14年3月1日	
財務省財政融資資金	314,055,750	—	23,137,941	290,917,809	2.200%	令和14年3月1日	
財務省財政融資資金	234,520,803	—	17,084,159	217,436,644	0.900%	令和15年3月25日	
三井住友銀行	38,008,348	—	38,008,348	0	2.060%	令和3年3月25日	
東和銀行	294,633,340	—	147,316,666	147,316,674	1.030%	令和4年3月25日	
計	2,378,004,466	—	611,298,822	1,766,705,644			

(5) 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他(注)		
退職給付引当金	4,832,601,883	316,607,374	222,748,834	0	4,926,460,423	
賞与引当金	394,751,548	411,498,791	394,751,548	0	411,498,791	
貸倒引当金	23,089,306	9,634,173	0	232,296	32,391,183	(注1)
計	5,250,442,737	737,740,338	617,500,382	232,296	5,370,350,397	

(注1)貸倒引当金の当期減少額のその他は、回収による取崩しによるものです。

(6) 資本金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
計	160,235,890	0	0	160,235,890	

(7) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

ア 運営費負担金債務

交付年度	期首残高	負担金当期交付額	当期振替額			期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	
令和2年度	0	3,405,070,382	2,635,465,382	753,881,000		3,389,346,382
計	0	3,405,070,382	2,635,465,382	753,881,000	0	3,389,346,382

(単位:円)

イ 運営費負担金収益

業務等区分	令和2年度負担分	合計
期間進行基準	2,512,164,406	2,512,164,406
費用進行基準	123,300,976	123,300,976
計	2,635,465,382	2,635,465,382

(8) 地方公共団体等からの財源措置の明細

ア 補助金等の明細

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資産剰余金	長期預り補助金等	
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	17,100,000					17,100,000
新人看護職員研修事業補助金	400,000					400,000
医師臨床研修補助事業補助金	122,575					122,575
新型コロナウイルス感染症対策事業医療提供体制整備費補助金	106,784,000					106,784,000
認可外保育施設新型コロナウイルス感染症対策推進事業費補助金	394,000					394,000
インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金	34,555,000					34,555,000
新型コロナウイルス緊急包括支援交付金(感染拡大防止等支援事業)	36,050,000		9,128,911			26,921,089
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	8,298,000		3,976,940			4,321,060
感染症外来協力医療機関設備整備費補助金	2,031,000		1,968,450			62,550
計	205,734,575	0	15,074,301	0	0	190,660,274

(単位:円)

(9) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区分	報酬または給与		退職手当	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役員	(1,500)	(. 4)	(0)	(0)
	25,178	2	0	0
職員	(285,555)	(124)	(0)	(0)
	5,459,915	722	222,749	43
計	(287,055)	(128)	(0)	(0)
	5,485,093	724	222,749	43

(注1)

非常勤・有期職員については、外数として()内に記載しています。
また、支給人数については、年間平均支給人数で記載しています。

(注2)

役員報酬については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。
職員給与及び退職手当については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員給与規程」及び「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員退職手当規程」に基づき支給しています。

(注3)

上記明細には、法定福利費は含めていません。

(10) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分	精神医療センター	がんセンター	計	機構本部	合計
営業収益					
医業収益	2,938,151,455	12,372,536,659	15,310,688,114	30,189,104	15,340,877,218
運営費負担金	1,838,132,222	9,997,832,602	11,835,964,824	0	11,835,964,824
資産見返負債戻入	953,644,000	1,579,223,382	2,532,867,382	5,934,000	2,538,801,382
その他営業収益	106,738,424	644,317,210	751,055,634	23,738,000	774,793,634
その他営業費用	39,636,809	151,163,465	190,800,274	517,104	191,317,378
営業費用	2,923,228,295	12,312,623,327	15,235,851,622	192,366,529	15,428,218,151
医業費用	2,860,499,135	11,701,830,367	14,562,329,502	2,674,102	14,565,003,604
一般管理費	0	0	0	186,310,819	186,310,819
その他営業費用	62,729,160	610,792,960	673,522,120	3,381,608	676,903,728
営業損益	14,923,160	59,913,332	74,836,492	△ 162,177,425	△ 87,340,933
営業外収益	19,623,603	113,734,465	133,358,068	26,922,559	160,280,627
運営費負担金収益	11,530,000	59,946,000	71,476,000	25,188,000	96,664,000
その他営業外収益	8,093,603	53,788,465	61,882,068	1,734,559	63,616,627
営業外費用	9,412,959	135,057,330	144,470,289	16,796,977	161,267,266
財務費用	9,045,057	76,584,911	85,629,968	46,278	85,676,246
その他営業外費用	367,902	58,472,419	58,840,321	16,750,699	75,591,020
経常損益	25,133,804	38,590,467	63,724,271	△ 152,051,843	△ 88,327,572
総資産	2,229,950,904	9,150,962,010	11,380,912,914	1,226,598,350	12,607,511,264
(主要資産内訳)					
固定資産	1,677,968,818	6,888,022,741	8,565,991,559	41,255,358	8,607,246,917
流動資産	383,715	2,871,733	3,255,448	1,108,922,845	1,112,178,293
未収金	340,962,948	1,777,844,537	2,118,807,485	1,382,182	2,120,189,667

(注)セグメントの区分については、地方独立行政法人宮城県立病院機構会計規程に基づき、経理単位に区分しています。

(11) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)	
科目	金額
医業費用	
給与費	
給料	2,948,050,864
手当等	2,040,657,161
貸金	250,525,876
法定福利費	1,144,835,583
退職給付費用	310,969,695
賞与引当金繰入額	7,100,662,604
材料費	
薬品費	3,586,966,325
診療材料費	540,844,274
医薬消耗品費	528,400
たな卸資産減耗費	7,927,590
経費	
報償費	112,170,427
旅費交通費	3,482,609
職員被服費	7,976,340
消耗品費	57,057,739
消耗備品費	2,818,617
光熱水費	204,762,385
燃料費	70,909,037
交際費	80,440
食糧費	2,300
印刷製本費	4,691,260
修繕費	76,172,090
保険料	13,235,711
広告宣伝費	972,347
通信運搬費	11,348,664
賃借料	47,606,934
委託料	1,506,562,092
職員採用費	0
諸会費	3,039,817
貸倒引当金繰入額	9,634,173
医薬貸倒損失	0
雑費	32,198,892
減価償却費	
建物減価償却費	454,019,053
構築物減価償却費	12,198,400
器械備品減価償却費	487,679,180
車両減価償却費	1,602,402
無形固定資産減価償却費	79,510,174
研究研修費	
研究材料費	14,948,807
報償費	4,788,279
研究旅費	1,448,896
図書費	7,119,694
研究雑費	100,037,652
取得資産に係る控除対象外消費税償却	128,343,328
控除対象外消費税(消費税損失)	14,565,003,604
合計	57,684,858
	619,218,870
	15,241,907,332

科目	金額
一般管理費	
給与費	
給料等	47,320,300
手当	21,560,298
賞金	11,738,653
報酬	26,635,617
法定福利費	23,859,732
退職給付費用	5,637,679
賞与引当金繰入額	142,627,645
経費	
報償費	1,200,000
旅費交通費	640,428
消耗品費	979,744
消耗品費	0
光熱水費	620,096
燃料費	194,453
交際費	380,000
食糧費	0
印刷製本費	0
修繕費	16,400
保険料	21,730
通信運搬費	214,447
賃借料	980,367
委託料	11,930,615
職員採用費	3,846,576
諸会費	143,733
雑費	997,093
減価償却費	22,165,682
器械備品減価償却費	19,739,839
車両減価償却費	63,137
無形固定資産減価償却費	
一般管理費合計	21,517,492
	186,310,819

(12) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細
現金及び預金の内訳

区分	期末残高	備考
現金	3,293,318	
普通預金	1,108,884,975	
定期預金	0	
計	1,112,178,293	

参 考 資 料

(病院別貸借対照表・損益計算書)

貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位:円)

【精神医療センター】

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		712,910,000
建物	1,675,077,532	
建物減価償却累計額	<u>1,016,883,547</u>	658,193,985
構築物	77,268,923	
構築物減価償却累計額	<u>54,527,357</u>	22,741,566
器械備品	358,236,926	
器械備品減価償却累計額	<u>236,497,339</u>	121,739,587
車輛	10,155,959	
車輛減価償却累計額	<u>4,821,147</u>	5,334,812
建設仮勘定		156,598,868
その他有形固定資産	450,000	
他有形固定資産減価償却累計額	0	<u>450,000</u>
有形固定資産合計		1,677,968,818
2 無形固定資産		
ソフトウェア		139,743,814
電話加入権		<u>326,500</u>
無形固定資産合計		140,070,314
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		56,506,672
投資その他資産		<u>69,760</u>
投資その他の資産合計		<u>56,576,432</u>
固定資産合計		1,874,615,564
II 流動資産		
現金及び預金		383,715
医業未収金	337,559,404	
貸倒引当金	<u>△ 21,885,148</u>	315,674,256
未収金	3,403,544	
貸倒引当金	<u>△ 1,975,300</u>	1,428,244
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	8,132,625	
診療材料	1,914,875	
その他貯蔵品	<u>1,667,250</u>	11,714,750
その他流動資産		<u>26,134,375</u>
流動資産合計		355,335,340
資産合計		<u>2,229,950,904</u>

貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	44,691,416	
資産見返物品受贈額	<u>450,001</u>	45,141,417
長期借入金		856,226,579
移行前地方債償還債務		347,511,370
引当金		
退職給付引当金		1,636,271,592
長期リース債務		3,793,350
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 1,990,176,422</u>	
固定負債合計		898,767,886
II 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		38,381,458
1年以内返済予定長期借入金		120,722,223
医業未払金		171,633,075
未払金		10,799,081
1年以内支払予定リース債務		4,233,708
未払消費税等		1,857,363
預り金		17,638,788
引当金		
賞与引当金	<u>117,916,741</u>	
流動負債合計		<u>483,232,437</u>
負債合計		1,382,000,323
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>232,341,583</u>	
資本金合計		232,341,583
II 利益剰余金		
当期未処分利益(△当期未処理損失)	<u>615,608,998</u>	
(うち当期総利益)	(25,151,033)	
利益剰余金合計		<u>615,608,998</u>
純資産合計		<u>847,950,581</u>
負債純資産合計		<u>2,229,950,904</u>

損益計算書
(令和3年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	1,418,739,347	
外来収益	294,016,035	
その他医業収益	125,376,840	1,838,132,222
運営費負担金収益		953,644,000
資産見返運営費負担金戻入		98,786,000
補助金等収益		39,636,809
資産見返補助金等戻入		7,952,424
営業収益合計		2,938,151,455
営業費用		
医業費用		
給与費	2,041,836,697	
材料費	138,408,037	
経費	498,541,382	
減価償却費	175,638,147	
研究研修費	6,074,872	2,860,499,135
取得資産に係る控除対象外消費税償却		7,940,828
控除対象外消費税(消費税損失)		54,788,332
営業費用合計		2,923,228,295
営業利益		14,923,160
営業外収益		
運営費負担金収益		11,530,000
その他営業外収益		8,093,603
営業外収益合計		19,623,603
営業外費用		
財務費用		9,045,057
その他営業外費用		367,902
営業外費用合計		9,412,959
経常利益		25,133,804
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		17,240
臨時利益合計		17,240
臨時損失		
固定資産除却損		11
臨時損失合計		11
当期純利益(△損失)		25,151,033
当期総利益(△損失)		25,151,033

貸借対照表
(令和3年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
土地		590,680,000
建物	8,046,763,220	
建物減価償却累計額	<u>3,214,269,227</u>	4,832,493,993
構築物	124,841,804	
構築物減価償却累計額	<u>57,740,419</u>	67,101,385
器械備品	5,822,919,263	
器械備品減価償却累計額	<u>4,449,171,903</u>	1,373,747,360
車輛	228,375	
車輛減価償却累計額	<u>228,372</u>	3
有形固定資産合計		<u>6,888,022,741</u>
2 無形固定資産		
ソフトウェア		4,660,159
電話加入権		<u>251,500</u>
無形固定資産合計		4,911,659
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		232,808,694
投資その他資産		<u>30,410</u>
投資その他の資産合計		<u>232,839,104</u>
固定資産合計		7,125,773,504
II 流動資産		
現金及び預金		2,871,733
医業未収金	1,644,354,346	
貸倒引当金	<u>△ 7,265,155</u>	1,637,089,191
未収金		133,490,191
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	55,235,174	
診療材料	59,296,608	
その他貯蔵品	<u>3,463,014</u>	117,994,796
前払金		280,800
その他流動資産		<u>133,461,795</u>
流動資産合計		<u>2,025,188,506</u>
資産合計		<u>9,150,962,010</u>

貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	41,406,893	
資産見返寄附金	22,166,608	
資産見返物品受贈額	<u>2,176,092</u>	65,749,593
長期借入金		2,996,398,724
移行前地方債償還債務		829,072,360
引当金		
退職給付引当金		3,249,597,639
長期リース債務		69,489,310
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 2,729,781,892</u>	
固定負債合計		4,480,525,734
II 流動負債		
寄附金債務		12,313,472
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		551,740,456
1年以内返済予定長期借入金		462,900,002
医業未払金		790,225,767
未払金		85,476,015
1年以内支払予定リース債務		64,995,920
未払消費税等		3,979,395
預り金		89,004,005
前受金		207,035,144
引当金		
賞与引当金	<u>287,706,684</u>	
流動負債合計		<u>2,555,376,860</u>
負債合計		7,035,902,594
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>△ 1,016,499,159</u>	
資本金合計		△ 1,016,499,159
II 利益剰余金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	<u>3,131,558,575</u>	
(うち当期総利益)	(38,590,413)	
利益剰余金合計	<u>3,131,558,575</u>	
純資産合計		<u>2,115,059,416</u>
負債純資産合計		<u>9,150,962,010</u>

損益計算書
(令和3年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	5,634,490,845	
外来収益	4,102,055,758	
その他医業収益	261,285,999	9,997,832,602
運営費負担金収益		1,579,223,382
資産見返運営費負担金戻入		631,357,000
補助金等収益		151,023,465
資産見返補助金等戻入		4,947,557
資産見返寄附金戻入		6,516,297
資産見返物品受贈額戻入		1,496,356
その他営業収益		140,000
営業収益合計		12,372,536,659
営業費用		
医業費用		
給与費	5,058,825,907	
材料費	3,997,858,552	
経費	1,666,180,492	
減価償却費	859,371,062	11,701,830,367
研究研修費	119,594,354	
取得資産に係る控除対象外消費税償却		48,900,508
控除対象外消費税(消費税損失)		561,892,452
営業費用合計		12,312,623,327
営業利益		59,913,332
営業外収益		
運営費負担金収益		59,946,000
寄附金収益		517,000
その他営業外収益		53,271,465
営業外収益合計		113,734,465
営業外費用		
財務費用		76,584,911
その他営業外費用		58,472,419
営業外費用合計		135,057,330
經常利益		38,590,467
臨時利益		
臨時利益合計		0
臨時損失		
固定資産除却損		54
臨時損失合計		54
当期純利益(△損失)		38,590,413
当期総利益(△損失)		38,590,413

貸借対照表
(令和3年3月31日)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 固定資産		
1 有形固定資産		
器械備品	193,908,244	
器械備品減価償却累計額	154,652,887	39,255,357
車輛	1,588,380	
車輛減価償却累計額	1,588,379	1
その他有形固定資産	2,000,000	
その他有形固定資産減価償却累計額	0	2,000,000
有形固定資産合計		41,255,358
2 無形固定資産		
ソフトウェア		68,509,910
無形固定資産合計		68,509,910
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		7,781,875
投資その他資産		11,760
投資その他の資産合計		7,793,635
固定資産合計		117,558,903
II 流動資産		
現金及び預金		1,108,922,845
医業未収金	1,075,170	
貸倒引当金	△ 1,075,170	0
未収金	307,012	
貸倒引当金	△ 190,410	116,602
流動資産合計		1,109,039,447
資産合計		1,226,598,350

貸借対照表
(令和3年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返物品受贈額	2,000,002	2,000,002
長期借入金		103,768,600
引当金		
退職給付引当金		40,591,192
長期リース債務		0
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>4,719,958,314</u>	
固定負債合計		4,866,318,108
II 流動負債		
寄附金債務		373,624
1年以内返済予定長期借入金		14,518,600
医業未払金		117,976,366
未払金		143,560,707
1年以内支払予定リース債務		849,192
未払消費税等		5,842
預り金		7,108,315
賞与引当金	<u>5,875,366</u>	
流動負債合計		<u>305,991,988</u>
負債合計		5,172,310,096
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	<u>944,393,466</u>	
資本金合計		944,393,466
II 繰越欠損金		
当期未処分利益(△当期未処理損失)	<u>△ 4,890,105,212</u>	
(うち当期総損失)	(△ 151,836,787)	
繰越欠損金合計		<u>△ 4,890,105,212</u>
純資産合計		<u>△ 3,945,711,746</u>
負債純資産合計		<u>1,226,598,350</u>

損益計算書
(令和3年3月31日)

【本部】

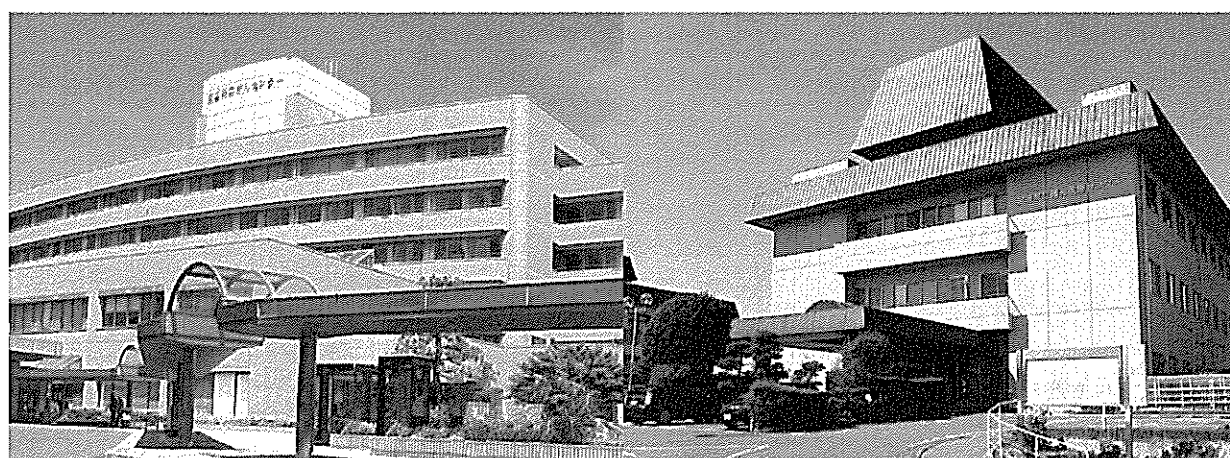
(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
運営費負担金収益	5,934,000	
資産見返運営費負担金戻入	23,738,000	
寄附金収益	517,104	
営業収益合計		30,189,104
営業費用		
医業費用		
研究研修費	2,674,102	2,674,102
一般管理費		
給与費	142,627,645	
経費	22,165,682	
減価償却費	21,517,492	186,310,819
取得資産に係る控除対象外消費税償却		843,522
控除対象外消費税(消費税損失)	2,538,086	
営業費用合計		192,366,529
営業利益		△ 162,177,425
営業外収益		
運営費負担金収益	25,188,000	
その他営業外収益	1,734,559	
営業外収益合計		26,922,559
営業外費用		
財務費用	46,278	
その他営業外費用	16,750,699	
営業外費用合計		16,796,977
經常利益		△ 152,051,843
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	215,056	
臨時利益合計		215,056
臨時損失		
臨時損失合計		0
当期純利益(△損失)		△ 151,836,787
当期総利益(△損失)		△ 151,836,787

業務実績報告書

令和2年度

(第10期事業年度)



自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

地方独立行政法人 宮城県立病院機構

目 次

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名称	1 ページ
2 所在地	1 ページ
3 法人設立年月日	1 ページ
4 設立団体	1 ページ
5 設立目的	1 ページ
6 業務の内容	1 ページ
7 役員	1 ページ
8 組織の現況	2 ページ
9 組織図	3 ページ
10 職員の状況	4 ページ
11 資本金の状況	5 ページ
12 沿革	5 ページ

II 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表	7 ページ
2 財務諸表の科目	8 ページ
3 財務情報	10 ページ

III 事業報告

1 事業を取り巻く環境	14 ページ
2 令和2年度の主な取組(重点事項の実施状況)	15 ページ
3 令和2年度の経営状況	22 ページ

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名称

地方独立行政法人宮城県立病院機構

2 所在地

宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

3 法人設立年月日

平成23年4月1日

4 設立団体

宮城県

5 設立目的

地方独立行政法人宮城県立病院機構は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、宮城県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

6 業務の内容

- ① 医療の提供及びその附帯業務
- ② 医療に関する調査及び研究並びにその附帯業務
- ③ 医療に関する技術者の研修及びその附帯業務

7 役員

(令和3年3月31日現在)

職名	氏名	任期	備考
理事長	荒井 陽一	自 平成31年4月1日 至 令和3年3月31日	平成13年12月 東北大学大学院医学研究科・泌尿器科学分野教授 平成30年4月 宮城県立がんセンター総長 平成31年4月 (現職)
副理事長	宮崎 博之	自 平成30年4月1日 至 令和3年3月31日	平成27年4月 宮城県仙台地方振興事務所長 平成28年4月 宮城県公務研修所長 平成30年4月 (現職)
理事	角藤 芳久	自 平成28年4月1日 至 令和3年3月31日	平成23年4月 宮城県立精神医療センター副院長 平成28年4月 宮城県立精神医療センター院長 平成28年4月 (現職)
理事	山田 秀和	自 平成30年4月1日 至 令和3年3月31日	平成29年4月 宮城県立がんセンター副院長 平成30年4月 宮城県立がんセンター院長 平成30年4月 (現職)
理事 (非常勤)	近藤 俊之	自 平成27年4月1日 至 令和3年3月31日	元 千葉県病院事業管理者 平成27年4月1日 (現職)
理事 (非常勤)	瀧島 炎紀	自 平成31年4月1日 至 令和3年3月31日	現 公立黒川病院副院長兼看護部長 平成31年4月1日 (現職)
監事	小山 かほる	自 平成27年4月1日 至 令和3年3月31日	現 オヤマ税理士法人 税理士・公認会計士 平成27年4月1日 (現職)
監事	佐藤 廣嗣	自 平成29年4月1日 至 令和3年3月31日	前 宮城県土地開発公社理事長 平成29年4月1日 (現職)

8 組織の現況

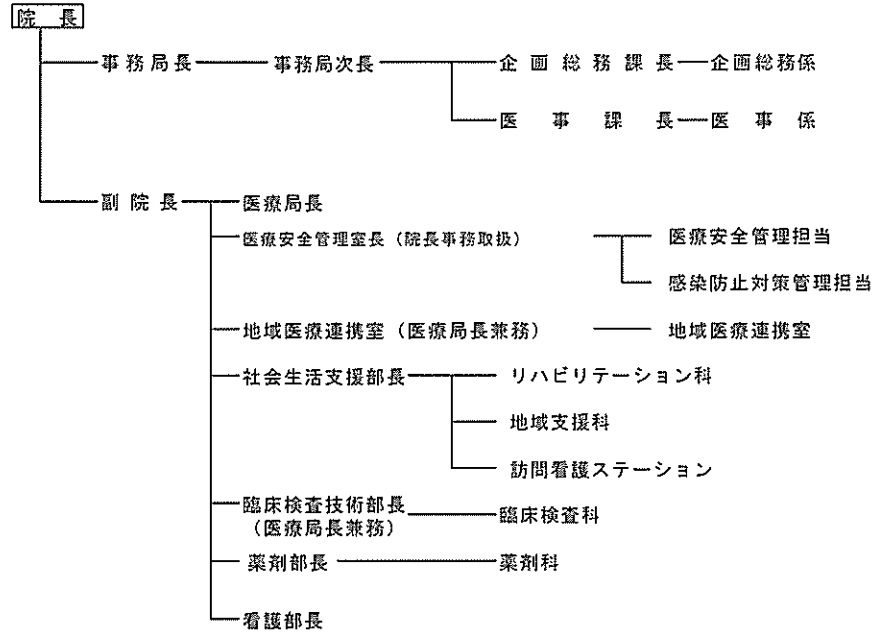
(令和3年3月31日現在)

区分	精神医療センター	がんセンター	本部
所在地	〒981-1231 名取市手倉田宇山無番地 Tel.022-384-2236	〒981-1293 名取市愛島塩手宇野田山47-1 Tel.022-384-3151	〒981-1239 名取市愛島塩手宇野田山47-1 Tel.022-796-1042
開設年月日	昭和32年4月12日 (平成15年4月1日名取病院から改称)	昭和42年4月1日 (平成5年4月1日成人病センターから改称)	
診療科目	精神科, 児童精神科, 歯科	血液内科, 腫瘍内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 頭頸部内科, 緩和ケア内科, 腫瘍循環器科, 精神腫瘍科, 糖尿病・代謝内科, 呼吸器外科, 消化器外科, 乳腺外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 泌尿器科, 婦人科, 頭頸部外科, 皮膚科, 眼科, 放射線診断科, 放射線治療科, 麻酔科, 病理診断科, 臨床検査科, 歯科	
病床数	精神病床 258床 (うち救急病床8床, 結核合併病床2床)	一般病床 383床 (うち緩和ケア病棟25床)	
入院基本料 (施設基準)	精神病棟 精神病棟入院基本料 (15対1入院基本料) 精神科救急入院料Ⅰ (10対1入院基本料) 児童思春期精神科入院医療管理料	一般病棟 専門病院入院基本料 (7対1入院基本料) 緩和ケア病棟 緩和ケア病棟入院料	
主要職員	院長 角藤 芳久 副院長 船越 俊一 医療局長 大野 高志 社会生活支援部長 佐竹 嘉裕 薬剤部長 小坂 卓哉 看護部長 及川 裕司 事務局長 三浦 年男	総長 荒井 陽一 院長 山田 秀和 研究所長 島 礼 副院長 藤谷 恒明 副院長 佐々木 治 医療局長 鈴木 真一 臨床検査技術部長 泉 澤 淳子 診療放射線技術部長 屋 八 弘二 薬剤部長 西條 嘉代子 看護部長 佐藤 千賀 事務局長 米谷 邦明	事務局長 角屋 憲正 看護専門監 齋藤 弘子

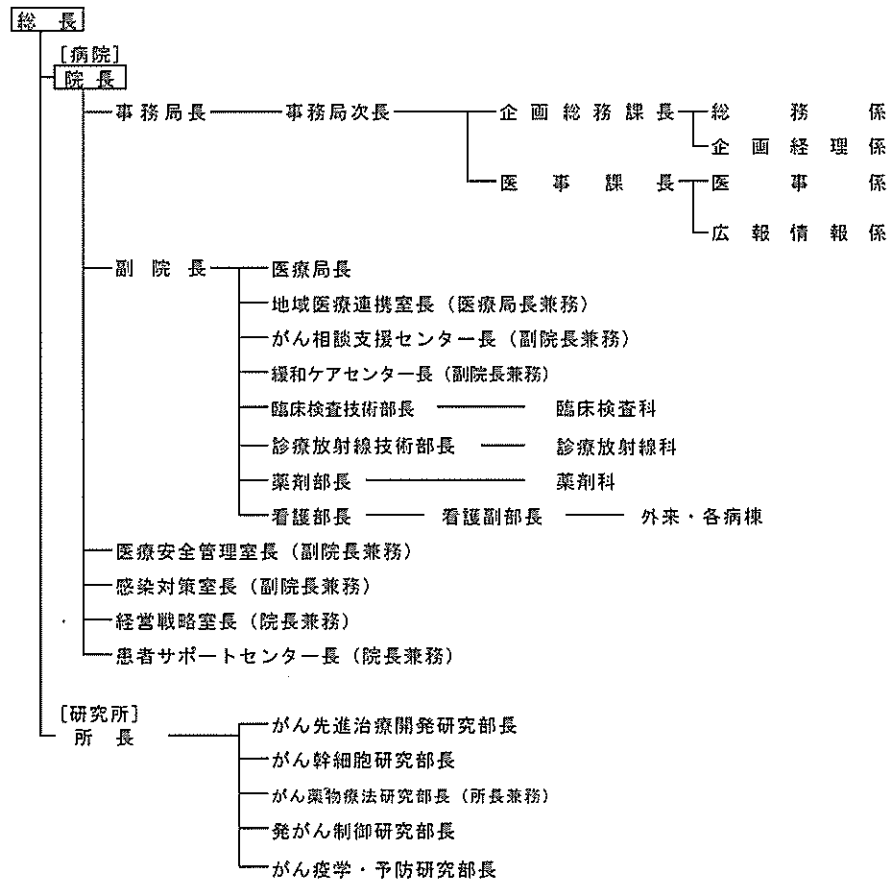
9 組織図

(令和3年3月31日現在)

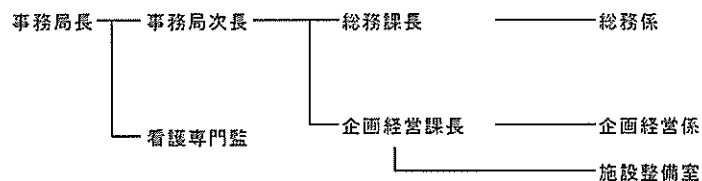
【精神医療センター】



【がんセンター】



【本部】



10 職員の状況

(令和3年3月31日現在)

職 種 等	精神医療センター			がんセンター			本部事務局			計			
	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ-イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ-イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ-イ)	前年度末現員 (イ)	決算年度末現員 (ロ)	増減 (ロ-イ)	
理事長・副理事長			人 0			人 0	2	2	0	2	2	0	
・医師	17	18	1	75	74	△1			0	92	92	0	
看護職員	看護師	148	146	△2	310	312	2	1	1	0	459	459	0
	准看護師	1	0	△1			0			0	1	0	△1
	看護助手			0			0			0	0	0	0
	計	149	146	△3	310	312	2	1	1	0	460	459	△1
医療技術職員	薬剤師	6	6	0	25	25	0			0	31	31	0
	診療放射線技師			0	29	26	△3			0	29	26	△3
	臨床検査技師	3	2	△1	27	28	1			0	30	30	0
	保健師	2	2	0			0			0	2	2	0
	臨床心理士	4	4	0	1	1	0			0	5	5	0
	作業・理学療法士	5	5	0	4	4	0			0	9	9	0
	臨床工学技士			0	6	6	0			0	6	6	0
	医療ソーシャルワーカー			0	2	3	1			0	2	3	1
	精神保健福祉士	10	10	0			0			0	10	10	0
	栄養士	2	3	1	4	3	△1			0	6	6	0
	化学			0	2	2	0			0	2	2	0
	研究			0	3	3	0			0	3	3	0
	歯科衛生士				0	0	0				0	0	0
	言語聴覚士				1	2	1				1	2	1
試験検査補助			0	0	0	0			0	0	0	0	
計	32	32	0	104	103	△1	0	0	0	136	135	△1	
事務職員	11	11	0	22	25	3	15	14	△1	48	50	2	
合計	209	207	△2	511	514	3	18	17	△1	738	738	0	
宮城県からの派遣職員数 (上記の内数)	2	2	0	1	1	0	6	6	0	9	9	0	

1.1 資本金の状況

(単位：百万円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
県出資金	160	0	0	160
資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 1,055	0	88	△ 1,143
純資産合計	△ 895	0	88	△ 983

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがあります。

1.2 沿革

年月日	変遷等の概要
23. 4. 1	循環器・呼吸器病センター、精神医療センター、がんセンター 地方独立行政法人宮城県立病院機構へ移行 機構 理事長 初代 菅村 和夫 がんセンター 8代総長 西條 茂 (院長, 7代研究所長を兼務)
23. 7. 1	精神医療センター ユース外来開始 がんセンター 11代院長 片倉 隆一
23. 9. 1	がんセンター 歯科開設
24. 1. 1	循環器・呼吸器病センター 7代院長 近内 利明
24. 3. 2	循環器・呼吸器病センター病院機能評価 (Ver. 6.0) 認定
25. 6. 17	がんセンター 病院機能評価 (Ver. 6.0) 認定
25. 8. 1	精神医療センター 北2病棟個室化に伴う病床数変更 (286床→271床)
25. 10. 1	がんセンター 集学治療棟開棟
26. 2. 1	精神医療センター 北2病棟 精神科救急入院料 (スーパー救急) 承認
26. 4. 1	精神医療センター 児童精神科開設 がんセンター 8代研究所長 島 礼
26. 4. 15	精神医療センター 訪問看護ステーション「ゆとり」開設
26. 5. 5	がんセンター 電子カルテシステム運用開始
26. 5. 7	がんセンター 診療科目変更 (循環器内科, 糖尿病・代謝内科, 血液内科, 腫瘍内科, 呼吸器内科, 呼吸器外科, 消化器内科, 消化器外科, 乳腺外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 泌尿器科, 婦人科, 眼科, 頭頸部外科, 放射線診断科, 放射線治療科, 麻酔科, 病理診断科, 緩和ケア内科, 歯科, 臨床検査科)
27. 3. 31	がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院指定
27. 4. 1	機構 2代理事長 西条 茂 がんセンター 9代総長 片倉 隆一 がんセンター 12代院長 小野寺 博義 循環器・呼吸器病センター 一般病床数変更 (150床→90床) (30床休止) 循環器・呼吸器病センター 診療科目変更 (呼吸器科・循環器科・心臓血管外科・呼吸器外科・消化器科・放射線科) 精神医療センター 地域医療連携室設置
27. 4. 15	精神医療センター 東2病棟閉鎖化 (全病棟閉鎖化)
27. 7. 1	がんセンター 総合がん検診開始

27.11.1	精神医療センター 児童思春期ユニット開設に伴う病床数変更 (271床→258床)
28. 1. 1	精神医療センター 児童・思春期精神科入院医療管理料承認
28. 4. 1	循環器・呼吸器病センター 8代院長 伊藤 康博 精神医療センター 6代院長 角藤 芳久 がんセンター緩和ケアセンター設置
28.10.1	がんセンター 診療報酬点数表変更(専門病院入院基本料7対1,10対1の病棟群による届出)
29. 5.16	循環器・呼吸器病センター 病棟再編(40床休止)
30. 4. 1	がんセンター10代総長 荒井 陽一 がんセンター13代院長 山田 秀和
30. 5.19	がんセンター 病院機能評価(一般病院2 3rdG:Ver.1.1)認定 がんセンター 病院機能評価副機能(緩和ケア病院3rdG:Ver.1.1)認定
31. 1. 1	がんセンター 皮膚科開設
31. 1.16	精神医療センター 精神科救急システム365日24時間化の運用開始
31. 2.28	循環器・呼吸器病センター 結核病棟を除く入院,外来の診療廃止
31. 3. 1	精神医療センター 電子カルテシステム更新
31. 3.25	がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院指定
31. 3.31	循環器・呼吸器病センター 病院事業を廃止
31. 4. 1	機構 3代理事長 荒井 陽一(がんセンター10代総長を兼務) がんセンター 精神腫瘍科開設
1. 6.28	精神医療センター 救急告示病院認定
2. 1.24	がんセンター ISO15189取得
2. 4. 1	がんセンター 腫瘍循環器科開設 がんセンター 患者サポートセンター開設

II 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	9,118	固定負債	10,246
有形固定資産	8,607	長期借入金	5,133
無形固定資産	213	引当金	4,926
投資その他の資産	297	リース債務	73
流動資産	3,490	その他	113
現金及び預金	1,112	流動負債	3,345
有価証券	0	1年以内返済長期借入金	1,188
医業未収金	1,953	未払金	1,320
棚卸資産	130	1年以内支払リース債務	70
その他	295	その他	767
		負債合計	13,590
		純資産の部	金額
		資本金	160
		資本剰余金	0
		繰越欠損金	△ 1,143
		純資産合計	△ 983
資産合計	12,608	負債純資産合計	12,608

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益(A)	15,501
診療業務収益	11,836
運営費負担金収益	3,389
その他経常収益	276
経常費用(B)	15,589
診療業務費	14,565
一般管理費	186
その他経常費用	838
臨時損益(C)	0
当期純損益(A-B+C)	△ 88

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(3) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	234
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 406
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 212
V 資金期首残高	1,324
VI 資金期末残高	1,112

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(4) 行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	3,735
損益計算書上の費用	15,589
(控除)自己収入等	△ 11,854
(その他行政サービス実施コスト)	
II 引当外退職給付増加見積額	8
III 機会費用	13
IV 行政サービス実施コスト	3,756

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

2 財務諸表の科目

(1) 貸借対照表

固定資産

有形固定資産 : 土地, 建物, 医療機器など

無形固定資産 : ソフトウェア, 電話加入権など

投資その他の資産 : 満期保有目的債権など

流動資産

現金及び預金 : 現金, 預金

有価証券 : 譲渡性預金, 1年以内に満期が到来する満期保有
目的債権など

医業未収金 : 医業収益に対する未収金

棚卸資産 : 医薬品, 診療材料など

固定負債

長期借入金 : 宮城県からの借入金

引当金 : 支給対象期間に基づき定期に支給する役職員賞与
に対する賞与引当金など

リース債務 : リース取引にかかる債務

流動負債

- 1年以内返済長期借入金 : 1年以内に返済期限が到来する長期借入金
- 未払金 : 医薬品, 診療材料, 医療機器購入などにかかる未払い債務
- 1年以内支払リース債務 : リース取引にかかる債務のうち, 1年以内に支払期限が到来する債務

純資産

- 資本金 : 宮城県からの出資金
- 資本剰余金 : 県から交付された施設費や補助金等を財源として取得した償却資産及びその他の資産 損益外減価償却相当額の累計額又は損益外減損損失相当額の累計額
- 利益剰余金 : 業務に関連して発生した剰余金の累計額
- 繰越欠損金 : 業務に関連して発生した欠損金の累計額

(2) 損益計算書

経常収益

- 診療業務収益 : 医業(入院・外来診療等)にかかる収益
- 運営費負担金収益 : 宮城県からの運営費負担金による収益

経常費用

- 診療業務費 : 医業(入院・外来診療等)に要する給与費, 材料費, 委託費, 減価償却費など
- 一般管理費 : 本部組織に係る給与費, 委託費など

臨時損益 : 固定資産の売却益など

臨時損失 : 固定資産の除却損など

(3) キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務の実施に係る資金の状態を表す

投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入および取得による支出, 定期預金の戻入による収入及び預入による支出, 固定資産の取得による支出など

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の借入による収入及び返済による支出, リース債務償還による支出など

(4) 行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から、県等の財源によらない自己収入を控除したもの

引当外退職給付増加見積額

宮城県からの派遣職員に係る退職給付債務の増加見積額

機会費用

宮城県から無利子で調達している短期借入金に関して、市中金融機関から調達した場合に、通常負担すべき額として試算した金額

3 財務情報

(1) 財務諸表の概要

- ① 経常収益，経常費用，当期総損益，資産，負債，キャッシュ・フローなどの主要な財務データの経年比較・分析

(経常収益)

経常収益は15,501百万円と、前年度と比較して443百万円減(前年比2.8%減)となっています。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度と比較して入院収益が353百万円減(前年比4.8%減)となったことなどが主な要因です。

(経常費用)

経常費用は15,589百万円と、前年度と比較して35百万円減(前年比0.2%減)となっています。これは、コロナの影響で各種学会や研修が中止またはオンライン開催となったことから、前年度と比較して研修研究費が12百万円減(前年比8.3%減)となったことに加えて、利息の高い借入の返済が進んだことで借入金利息の支払いが、前年度と比較して19百万円減(前年比18.0%減)となったことなどが主な要因です。

(当期純損益)

当期純損益は▲88百万円となり、前年度と比較して542百万円減となっています。

これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、両病院において、受診控えなどにより、入院収益が前年度と比較して311百万円減となったことなどが主な要因です。

(資産)

資産合計は12,608百万円と、前年度と比較して239百万円減(前年比

1.9%減)となっています。これは、有形固定資産の減価償却が進んだことや、前年度と比較して現預金が212百万円減(前年比16.0%減)となったことが主な要因です。

(負債)

負債合計は13,590百万円と、前年度と比較して152百万円減(前年比1.1%減)となっています。これは、前年度と比較して移行前地方債償還債務等の固定負債が346百万円減(前年比3.3%減)となったことが主な要因です。

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

業務活動によるキャッシュ・フローは219百万円の収入となり、前年度と比較して13百万円の収入減(前年比5.7%減)となっています。これは、前年度と比較して、運営費負担金収入が465百万円減(前年比14.9%減)となったことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは24百万円の支出となり、前年度と比較して437百万円の支出減(前年比94.7%減)となっています。これは、前年度と比較して有形固定資産の取得による支出額が607百万円減(前年比43.3%減)となったことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは406百万円の支出となり、前年度と比較して118百万円の支出増(前年比41.1%増)となっています。これは、前年度と比較して長期借入れによる収入が215百万円減(前年比20.9%減)となったことが主な要因です。

主要な財務データの経年比較

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	15,934	15,702	16,733	15,944	15,501
経常費用	16,236	15,159	16,222	15,624	15,589
当期純利益【又は(△)損失】	△ 301	△ 477	△ 755	454	△ 88
資産	16,576	14,995	13,198	12,847	12,608
負債	16,679	15,575	14,547	13,742	13,590
利益剰余金【又は(△)繰越欠損金】	△ 277	△ 754	△ 1,509	△ 1,055	△ 1,143
業務活動によるキャッシュ・フロー	511	217	1,100	232	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	850	△ 326	276	△ 461	△ 24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 143	△ 799	△ 713	△ 288	△ 406
資金期末残高	2,084	1,177	1,840	1,324	1,112

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(注) 令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績に含まれておりません。

(2) 重要な施設等の整備等の状況

- ① 当事業年度中に建替整備が完了した主要施設等
特になし
- ② 当事業年度において建替整備中の主要施設等
特になし
- ③ 当事業年度に処分した主要施設等
特になし

(3) 予算及び決算の概要（税込）

（単位：百万円）

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入						
診療業務収入	11,404	11,400	13,126	11,809	12,077	11,481
運営費負担金収入	4,101	4,097	4,017	4,000	4,100	4,101
その他収益的収入	178	171	182	164	149	159
長期借入金収入	893	452	2,152	1,148	1,369	518
その他資本的収入	0	9	0	0	0	0
計	16,576	16,128	19,477	17,121	17,695	16,258
支出						
診療業務費用	15,088	15,220	16,412	15,493	15,493	15,455
一般管理費	222	200	210	175	198	170
その他収益的支出	609	579	689	606	610	593
建設改良費	1,137	638	2,426	1,255	1,519	650
借入金償還金	1,237	1,237	1,173	1,173	1,201	1,201
その他資本的支出	0	0	0	0	0	0
計	18,291	17,874	20,910	18,702	19,021	18,068

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入						
診療業務収入	11,235	11,886	11,587	12,059	12,315	11,874
運営費負担金収入	4,724	4,749	3,655	3,815	3,409	3,389
その他収益的収入	143	739	250	259	108	281
長期借入金収入	1,560	770	1,648	1,030	1,146	814
その他資本的収入	0	3	0	0	0	13
計	17,662	18,147	17,140	17,162	16,978	16,371
支出						
診療業務費用	15,251	15,477	14,342	14,764	14,941	14,773
一般管理費	204	185	188	208	206	189
その他収益的支出	618	2,466	667	707	682	671
施設整備費	1,698	948	1,801	1,202	1,287	1,011
借入金償還金	1,367	1,367	1,182	1,222	1,129	1,129
その他資本的支出	0	0	0	0	0	0
計	19,138	20,444	18,181	18,102	18,246	17,773

（注）計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

（注）令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績には含まれておりません。

(4) 経費削減効果及び効率化に関する目標及びその達成状況

① 経費削減及び効率化目標

中期計画及び年度計画において、材料費比率や後発医薬品使用品目数等の具体的な数値目標を設定し、医療機器等における多様な調達方

法の検討、医薬品、診療材料、医療消耗備品における、品目毎の使用状況、調達状況等の管理、後発医薬品への切替の検討等に努め、経費の削減に努めております。

② 経費削減及び効率化目標の達成度合いを測る財務諸表等の科目（費用等）の経年比較

(単位：百万円)

区分	第2期中期目標期間						第3期中期目標期間					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
医業費用	15,220	102.5%	15,493	104.4%	15,455	104.1%	15,477	104.3%	14,764	97.0%	14,773	97.1%
うち経費	2,635	98.1%	2,521	93.9%	2,617	97.4%	2,631	98.0%	2,318	88.0%	2,356	89.4%
うち減価償却費	1,483	103.1%	1,335	92.8%	1,372	95.4%	1,290	89.7%	1,098	74.0%	1,035	69.8%
一般管理費	200	99.7%	175	86.9%	170	84.4%	185	92.3%	208	103.5%	189	94.2%
うち経費	15	89.1%	16	94.6%	13	80.3%	32	193.7%	25	167.2%	24	165.4%
うち減価償却費	8	100.9%	7	91.3%	8	99.8%	2	22.9%	29	374.4%	22	277.3%

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によるもので、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注) 令和元年度より循環器・呼吸器病センターが閉院のため実績には含まれておりません。

(5) 事業の説明

収益構造

① 財源内訳

当機構の経常収益は、15,501百万円で、その内訳は、運営費負担金収益2,539百万円（収益の16.4%）、資産見返運営費負担金収益754百万円（収益の4.9%）、診療報酬等の自己収入11,836百万円（収益の76.4%）となります。

② 財源情報及び業務実績の説明

診療事業は、「医療の質」と「経営の質」を意識した病院運営を行うとともに、県立病院機構職員一人ひとりが高度・専門医療を担う役割を自覚し、安全かつ確実な医療の提供に努めてまいりました。

事業の財源は、事務費及び事業費については、医業収益11,836百万円、運営費負担金収益2,539百万円、資産見返運営費負担金収益754百万円となっています。

事業に対する主な費用は、給与費7,101百万円、材料費4,136百万円、委託費などの経費2,165百万円、減価償却費1,035百万円となっています。

Ⅲ 事業報告

1 事業を取り巻く環境

宮城県立病院機構は、平成23年4月に地方独立行政法人へ移行してから、令和2年度で10年目の節目を迎えました。

これまで、高度専門病院としての役割を担うことを基本理念として、県民への良質な医療の提供と、地域医療水準の向上に寄与することを目的に運営してまいりましたが、急速に進む少子高齢化や医療技術の進展や医療人材の不足など、経営を取り巻く環境は大きく変化してきています。

さらに、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が医療体制に大きな影響を及ぼし、精神医療センター、がんセンターともに患者数が大幅に減少したため、令和2年度は病院機構全体で赤字決算となりました。

コロナ感染症の収束の見通しがたたない中、感染症発生前の水準まで患者数が回復することは難しく、令和3年度も引き続き厳しい経営環境となることが見込まれます。

このような状況において、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら、県立病院として、県のコロナ感染症対策の取組に協力していくとともに、経営の改善に努め、政策医療や高度・専門医療が、効率的かつ効果的に提供できるよう、法人の適正な管理・運営に努めてまいります。

病院の概要

(令和3年3月31日現在)

病院名	所在地	病床数	診療科	開院年月日	備考
精神医療センター	名取市	258床	精神科、児童精神科、歯科	S32. 4. 12	H15. 4. 1 名取病院から改称
がんセンター	名取市	383床	血液内科、腫瘍内科、呼吸器内科、消化器内科、頭頸部内科、緩和ケア内科、腫瘍循環器科、精神腫瘍科、糖尿病・代謝内科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、皮膚科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科	S42. 4. 1	H5. 4. 1 成人病センターから改称

2 令和2年度の主な取組（重点事項の実施状況）

変化する医療環境や厳しさを増す経営環境に的確に対応し、「医療の質」の向上に取り組むことにより、患者とその家族が納得し、安心・信頼して診療を受けられる病院であり続けることを目指しました。

（1）質の高い医療の提供

イ 精神医療センター

① 精神科救急・急性期医療の提供

施設設備の老朽化が著しい中、県内唯一の「精神科救急入院料病棟」の効率的・効果的な運用を図るため、毎朝の総合診療会議や毎週月曜日に実施される院長チームラウンドにおいて隔離室・個室確保のためのベッド調整を行うことにより、民間病院では対応困難な多様な患者の受け入れに努めました。

また、平成31年1月から365日24時間体制に移行した「県の精神科救急システム」については、当センターが中心的役割を果たしており、円滑な入院患者の受け入れに向けて急性期病棟の効率的な運用に努めております。

② 自立生活に向けた支援事業の実施

長期入院患者に対して退院前から在宅医療のケア体制について説明を行うとともに、退院後については在宅生活を支えるため、「訪問看護ステーションゆとり」を中心とした多職種によるチーム支援に加え、地域ケア会議などを通じ、市町村をはじめとする関係行政機関や地域の障がい福祉サービス事業所等と連携を図り、丁寧なフォローを行いました。

また、令和元年度に新たに始めた認知機能の改善を目的とした認知リハビリテーションを継続して実施しました。

③ 児童・思春期医療の提供

早期介入・支援等を行いモデル的医療の継続的な提供に努めたほか、児童精神科外来を一般外来から独立させ子どもさんが安心して治療できる環境を整備し、令和2年3月から新しい診察室で診療を開始しました。

さらに、学校訪問やケア会議の実施などを通して、教育機関との情報共有や連携促進を図り、入院している児童への学習機会の確保に努めました。

④ 慢性重症者に向けた医療体制の整備

院内の職員に加え、関係行政機関や地域の相談支援事業所のスタッフが参加し開催するチーム医療委員会において、慢性重症事例や支援プログラムの検討等を行いました。

また、行動制限最小化に向けて、毎週月曜日の院長チームラウンドや行動制限最小化・特例措置事後審査委員会で、行動制限されている患者に対する治療方針の検討を行ったほか、クロザピンを服用している患者の安全性の確保を図るため、クロザリル運用委員会を開催し、高度で専門的な医療の提供に努めました。

ロ がんセンター

がんの種類や患者の状態に応じた最適な医療を提供するため、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の一層の促進を図りました。

特に、化学療法については、前年と比べ、多くの患者を受け入れ、実施強化に努めました。

また、都道府県がん診療連携拠点病院として、国が推進しているがんゲノム医療について、がんゲノム医療連携病院に選定されています。さらに質の高い医療を求められることから、令和元年度に取得したISO15189の規格への適合を維持し、品質向上を継続していきます。また、先進的な医療機器の整備などについて検討を行うなど、必要な体制整備を図りました。

4月より地域医療連携室とがん相談支援センターを統合した患者サポートセンターを開設しました。これにより、患者や関連医療機関との連携を密に図り、より有機的できめ細やかな患者対応に努めました。

(2) 安全・安心な医療の提供

イ 精神医療センター

① 医療安全対策の推進

一次救命処置等の研修会を、全職員を対象とし開催し、資質向上に努めるとともに、ヒヤリハット事例等を基に医療安全カンファランスで情報共有化を図り、課題を抽出し、事故防止に努めました。

また、医療安全部門会議でインシデント等の報告事案を確認・分析し、その内容を医療安全管理委員会に報告し、病院全体で情報の共有に努めました。

② 院内感染症対策の推進

感染対策委員会を月1回定例で開催したほか、県内での新型コロナウイルスの流行に伴い、臨時の委員会を開催し対応を検討しました。

また、「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を随時改訂するとともに院内に周知し、感染防止に加え、院内で感染者が発生した場合の対応について、職員の認識の共有化を図りました。

さらに、感染症の専門家による研修会を開催するとともに、その指導に基づき、救急棟において、清潔・汚染区域を分けるゾーニング等を行うなどの感染対策を行いました。

ロ がんセンター

毎週開催される医療安全管理推進部会において、各部署から提出されるインシデント事例について、必要に応じて現場ラウンドによる現状確認なども行ったうえで、要因分析と対策案の検討を行いました。この結果は、月に1度開催される医療安全管理委員会に報告するとともに、これらの情報・分析内容を基に、医療安全マニュアルを改訂し、全職員に周知徹底しました。

そのほか、医療安全管理室主催の研修会を定期的を実施して、職員の医療安全に関する資質の向上を図り、安心・安全な医療の提供に努めました。

(3) 患者や家族の視点に立った医療の提供

イ 精神医療センター

医療の提供に際し、患者や家族に対して治療目的や方法等の説明を丁寧に行ったほか、患者等からの意見・要望については委員会に諮り、適切に対応しました。

また、入院行動制限を伴う場合は、精神保健福祉法に則した適切な対応に努めました。

ロ がんセンター

がんセンターの理念である「患者さんの視点に立つ」に基づき、インフォームドコンセントの徹底を図りました。

また、ご意見・ご提案部会を定期開催し、病院利用者からの意見・要望に随時対応しながら、院内環境の改善・整備に取り組むとともに、毎週幹部職員の管理巡回を行い、療養環境の向上を図りました。

なお、病院全体の車椅子トイレが不足していたため、1階外来、3階東病棟、4階東病棟、5階東病棟に増設し、車椅子を利用する患者とそ

の家族の利便性向上に努めました。

(4) 人材の確保と育成

イ 医師の確保と育成

精神医療センターでは、東北大学医学部との連携等により6名の医師を採用したほか、精神科専門医制度で応募のあった医師1名を採用しております。

さらに、防衛医科大学校病院から専攻医1名を受け入れ、人材の育成に努めました。

がんセンターでは、東北大学等と連携を図り、医療環境や業務量の変化に応じて医師の確保、配置を行うとともに、レジデントの積極的な受け入れを行いました。また、東北大学大学院との連携講座（医学系研究科がん医科学講座）においては13人の学生を受け入れ、研究・教育の強化に取り組みました。

ロ 看護師の確保と育成

民間の就職支援サイトへの登録や新たにホームページへの病院PR動画の掲載など積極的に広報活動を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、機構主催の説明会及びインターンシップは開催できませんでしたが、県内の看護師養成機関への電話や訪問により、採用情報の広報と情報収集を行いました。

また、専門・認定看護師の資格取得のための支援や院内外における研修会、学会への参加を積極的に推進したほか、宮城大学と協約を締結し、人材育成研修を継続するなど、看護師の資質向上を図りました。

ハ 医療従事者の確保と育成

医療環境や業務量の変化等に応じた適正な体制を維持するため、薬剤師、公認心理師、診療放射線技師の採用試験を実施し、医療従事者の確保に努めました。

ニ 事務職員の確保と育成

事務職員を3名採用するなど、病院の円滑な業務の継続性を確保しました。

障害者雇用については、病院の協力を得ながら就労可能な業務の洗い出しを行い、ハローワークと連携しながら、その募集に取り組みました。

また、病院特有の事務や運営について精通した人材を育成するための研修プログラムとして、診療情報管理士の通信教育の受講を支援し、新

たに1名が資格を取得しました。

ホ その他

宮城県公務研修所が行う県職員階層別研修に10名、東北自治研修所が行う各種研修に3名を派遣し、事務職員の資質向上を図りました。

(5) 災害等への対応

大規模災害等への対応に備えるため、職員安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を実施しました。令和3年2月に発生した地震の際には、災害対応マニュアルにそって病院の被害状況をとりとまとめ、県との連絡調整に努めました。

また、非常時に対応するための備蓄食料を更新し、適正な管理を行いました。

(6) その他の重要な取組

イ 精神医療センター

新病院建設候補地の選定が遅滞しているため、現施設での継続した医療の提供が求められており、ハード面での医療体制の整備が急務となっていることから、令和2年度及び3年度を工期として大規模修繕に取り組んでおります。

ロ がんセンター

良質な医療の提供や医療水準の維持向上、研究環境の整備を図るため、注射薬自動払出システム、手術顕微鏡、超遠心機等の医療機器・研究機器の計画的な導入・更新を行いました。

施設に関しては、吸収式冷凍機、直流電源装置蓄電池の更新等を行いました。特別室について、設備等が老朽化していることから、改修工事を行い、入院患者の入院環境の改善を図りました。

ハ がんセンター研究所

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学会開催は一部オンラインでの開催となりましたが、専門誌での論文発表においては、がんの克服を目指した研究成果について発表を行いました。また、科研費および国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下AMED）の採択事業については、目標を上回る結果を得ました。主な取り組みにつきましては以下の通りです。

① 難治がんを対象とした基礎研究

効果的な治療法が確立されていないがんや、治療により抵抗性を獲得したがんに対する治療開発を目標として、個々の研究者のもつ独創的な研究の中から、新たな治療シーズを見出すための研究を行っており、論文を発表しました。

②新薬・治療開発に向けた研究

「がん代謝を標的とした革新的な治療開発のための研究」や「扁平上皮がんを標的とした新規治療法開発の研究」については、AMEDで採択され、実用化に向けた研究が始まっています。さらに、「副作用の少ないがん免疫療法」に関して、機構独自では初めてとなる特許の申請を行いました。

③病院との共同研究

臨床に即したがんゲノム医療の研究として、がん患者の再発マーカー開発を次世代シーケンサーとデジタルPCRを活用する基盤を整備しました。

二 本部

①職員の負担軽減と家庭環境への配慮

人事給与システムの導入や、職種毎の勤務管理システムを段階的に稼働いたしました。令和3年度中には全職種での運用を予定しており、勤務管理システムによる効率的な労務管理を図り、事務負担の軽減と業務効率性を高めてまいります。

②有期雇用職員の処遇改善

同一労働同一賃金を踏まえ、昇給制度の導入や、期末手当相当分の賃金の支給、特別有給休暇の拡充など、有期雇用職員の処遇改善を行いました。

③目標達成に向けた取組

理事会や理事長・院長等会議を開催し、業務運営体制のあり方などについて必要な検討を行うとともに、新型コロナウイルスの影響などにより、中期計画や年度計画に掲げた目標との乖離幅の縮小に向けて、議論を行いました。

また、機構内部の情報共有と、経営改善に向けた意見交換を行うため、精神医療センターとがんセンターとの個別の意見交換会を実施しました。

さらに、全職員に経営状況を周知するため、理事長等による経営状況説明会を実施しました。今年度より、オンラインでの情報提供を取り入れるとともに、説明資料は、2病院の具体的な取組状況なども盛り込み、経営状況の「見える化」に努めました。

④未収金の発生防止、早期回収の実施

未収金縮減計画に基づき、債務者への定期的な督促、強化月間の設定、債権回収業務委託などにより、適切に債権管理を行い、未収金の早期回収に努めました。

また、令和元年度の包括外部監査の結果報告書を踏まえ、「未収金取扱要領」の見直しを行い、貸倒引当金算定基準を改正しました。

⑤経費削減への取組

令和元年度に実施された包括外部監査結果報告を踏まえ、機構での一括調達の対象品目・業務の拡大を図るため、契約事務検討ワーキング等において検討を行い、一括契約可能な案件の選定を行いました。そのうち、一部の品目について一括契約を実施し、スケールメリットを活かした経費の削減を図りました。

3 令和2年度の経営状況

イ 精神医療センター

入院収益は1,419,441千円となり、当予算と比較し、99,473千円の減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の流行及び大規模修繕の影響による病室使用制限のため患者数が減少したほか、近年、地域移行推進のため、在院日数が短くなったことが影響したものと思量されます。

外来収益は294,047千円となり、当初予算と比較し21,072千円の減となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、デイケアの利用者数が減少したほか、一般外来の患者数も減少したことが影響しております。

外来診療においては、電話再診を行うなど患者確保に努めておりますが、昨年4月から6月までの患者数の減少が大きく影響しました。

営業費用については、2,936,919千円となり、当初予算と比較し、96,420千円の減となりました。これは、給与費で43,019千円減少したほか、経費等においても委託料などで見込みを下回ったことによるものです。

また、本年度は、コロナウイルス感染症感染防止対策事業等に係る補助金収益(39,637千円)を計上した結果、営業損益は14,306千円となりました。これに営業外収益と営業外費用を加えた経常損益は25,134千円となり、当初予算と比較して2,827千円の増となっております。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】精神医療センター (単位:千円)

科目	R2予算(ア)	R2決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	3,042,959	2,951,225	△ 91,734	△ 3.0%
1 営業収益	1,973,589	1,851,206	△ 122,383	△ 6.2%
(1)入院収益	1,518,914	1,419,441	△ 99,473	△ 6.5%
(2)外来収益	315,119	294,047	△ 21,072	△ 6.7%
(3)その他営業収益	139,556	137,718	△ 1,838	△ 1.3%
2 運営費負担金収益	962,827	953,644	△ 9,183	△ 1.0%
3 資産見返運営費負担金戻入	98,786	98,786	0	0.0%
4 その他	7,757	47,589	39,832	513.5%
II 営業費用(B)	3,033,339	2,936,919	△ 96,420	△ 3.2%
1 営業費用	2,998,759	2,904,559	△ 94,200	△ 3.1%
(1)給与費	2,087,119	2,044,100	△ 43,019	△ 2.1%
(2)材料費	142,804	136,408	△ 6,396	△ 4.5%
(3)経費	571,387	539,802	△ 31,585	△ 5.5%
(4)減価償却費	182,334	175,638	△ 6,696	△ 3.7%
(5)研究研修費	15,115	6,612	△ 8,503	△ 56.3%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	34,580	32,360	△ 2,220	△ 6.4%
営業損(△)益	9,620	14,306	4,686	48.7%
III 営業外収益(D)	22,384	20,273	△ 2,111	△ 9.4%
1 運営費負担金収益	11,530	11,530	0	0.0%
2 その他	10,854	8,743	△ 2,111	△ 19.4%
IV 営業外費用(E)	9,697	9,446	△ 251	△ 2.6%
(1)財務費用(支払利息)	9,216	9,045	△ 171	△ 1.9%
(2)その他	481	401	△ 80	△ 16.7%
経常損(△)益	22,307	25,134	2,827	12.7%
V 臨時利益(G)	0	17	17	0.0%
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	△ 98.0%
当年度純損(△)益	22,306	25,151	2,845	12.8%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	22,306	25,151	2,845	12.8%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	596,100	292,100	△ 304,000	△ 51.0%
(1)長期借入金	596,100	292,100	△ 304,000	△ 51.0%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	772,493	455,306	△ 317,187	△ 41.1%
(1)建設改良費	627,633	310,446	△ 317,187	△ 50.5%
(2)償還金	144,860	144,859	△ 1	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 176,393	△ 163,206	13,187	7.5%

(注)表中の数値について、欄々に四捨五入をしている関係上、各計額及び差引額が一致しない場合がある。

【図表2】診療実績調(税込)

区分		令和2年度(7)	当初予算(イ)	中期計画	令和元年度	当初予算対比 (7)-(イ)	当初予算対比	
精神センター	入院	年間入院患者延数(人)	61,586	67,525	68,620	65,163	△ 5,939	91.2%
		金額(千円)	1,419,441	1,518,914	1,603,966	1,460,543	△ 99,473	93.5%
		患者一人当たりの診療収入	23,048	22,494	23,375	22,414	554	102.5%
		平均在院日数(日)	115.9	-	-	128.3		
		病床稼働率(%)	65.4%	71.7%	72.9%	69.0%		91.2%
	外来	年間外来患者延数(人)	35,631	38,540	38,018	36,613	△ 2,909	92.5%
		金額(千円)	294,047	315,119	312,216	296,501	△ 21,072	93.3%
		患者一人当たりの診療収入	8,253	8,176	8,212	8,098	77	100.9%
		平均通院日数(日)	49.8	-	-	48.0		
		延べ患者数(人)	97,217	106,065	106,638	101,776	△ 8,848	91.7%
計	金額(千円)	1,713,488	1,834,033	1,916,182	1,757,044	△ 120,545	93.4%	

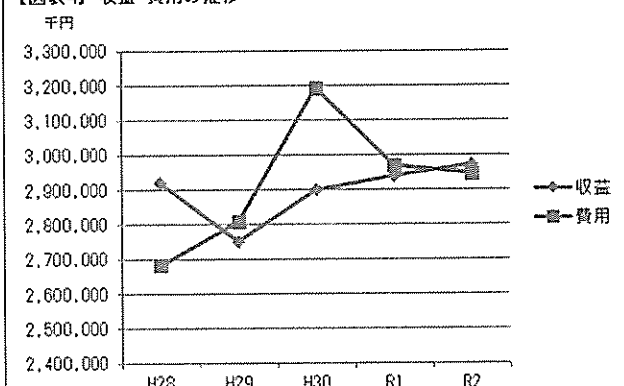
- ・入院診療日数 2年度365日 元年度 366日
- ・外来診療日数 2年度243日 元年度 240日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数(許可病床258床×暦日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

【図表3】予算額に対する比較表(税込)

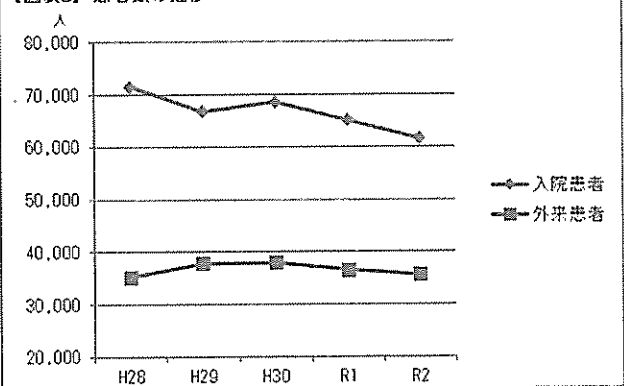
(単位:千円)

	R2決算 (A)	R2当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R2補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	R1決算 (D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,053,353	△ 1,025,170	△ 28,183	△ 2.7%	△ 1,108,817	55,464	5.0%	△ 1,030,265	△ 23,088	△ 2.2%
営業損益	14,306	9,620	4,686	48.7%	△ 56,328	70,634	125.4%	△ 42,478	56,784	133.7%
経常損益	25,134	22,307	2,827	12.7%	△ 46,584	71,718	154.0%	△ 31,234	56,368	180.5%
純損益	25,151	22,306	2,845	12.8%	△ 46,585	71,736	154.0%	△ 31,234	56,365	180.5%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	25,151	22,306	2,845	12.8%	△ 46,585	71,736	154.0%	△ 31,234	56,365	180.5%

【図表4】収益・費用の推移



【図表5】患者数の推移



ロ がんセンター

入院について、入院収益は、5,634,696千円となり、当初予算と比較し547,041千円の減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、入院患者数の減少によるものです。

外来について、外来収益は、4,102,651千円となり、当初予算と比較して233,036千円の増となりました。これは、外来患者数は減少したものの外来化学療法の増加等に伴い、診療単価が上がり、当初予算を上回ったものです。

営業費用については、当初予算と比較すると57,139千円の減となりました。これは、時間外勤務手当等の給与費及び委託費・修繕費等の経費が減少したことが主な要因となっております。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は60,887千円、これに支払利息等の営業外費用を加えた当年度純利益は38,590千円となり、当初予算と比較すると130,913千円の未達となりました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】がんセンター

(単位:千円)

科目	R2予算(ア)	R2決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	12,587,100	12,397,931	△ 189,169	△ 1.5%
1 営業収益	10,341,008	10,023,227	△ 317,781	△ 3.1%
(1)入院収益	6,181,737	5,634,696	△ 547,041	△ 8.8%
(2)外来収益	3,869,615	4,102,651	233,036	6.0%
(3)その他営業収益	289,656	285,880	△ 3,776	△ 1.3%
2 運営費負担金収益	1,587,856	1,579,223	△ 8,633	△ 0.5%
3 資産見返運営費負担金戻入	631,357	631,357	0	0.0%
4 その他	26,879	164,124	137,245	510.6%
II 営業費用(B)	12,394,183	12,337,044	△ 57,139	△ 0.5%
1 営業費用	11,936,764	11,865,555	△ 71,209	△ 0.6%
(1)給与費	5,180,357	5,063,993	△ 116,364	△ 2.2%
(2)材料費	3,844,228	3,997,859	153,631	4.0%
うち薬品費	3,312,757	3,459,795	147,038	4.4%
うち診療材料費	520,435	530,046	9,611	1.8%
(3)経費	1,880,588	1,816,113	△ 64,475	△ 3.4%
(4)減価償却費	861,634	859,371	△ 2,263	△ 0.3%
(5)研究研修費	169,957	128,220	△ 41,737	△ 24.6%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	457,419	471,488	14,069	3.1%
営業損(△)益	192,917	60,887	△ 132,030	△ 68.4%
III 営業外収益(D)	122,353	117,746	△ 4,607	△ 3.8%
1 運営費負担金収益	59,946	59,946	0	0.0%
2 その他	62,407	57,800	△ 4,607	△ 7.4%
IV 営業外費用(E)	145,766	140,043	△ 5,723	△ 3.9%
(1)財務費用(支払利息)	78,382	76,585	△ 1,797	△ 2.3%
(2)その他	67,384	63,458	△ 3,926	△ 5.8%
経常損(△)益	169,504	38,590	△ 130,914	△ 77.2%
V 臨時利益(G)	0	0	0	-
VI 臨時損失(H)	1	0	△ 1	-
当年度純損(△)益	169,503	38,590	△ 130,913	△ 77.2%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	169,503	38,590	△ 130,913	△ 77.2%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	458,200	446,572	△ 11,628	△ 2.5%
(1)長期借入金	458,200	433,900	△ 24,300	△ 5.3%
(2)その他	0	12,672	12,672	0.0%
II 資本支出(b)	1,514,462	1,559,293	44,831	3.0%
(1)建設改良費	566,754	611,585	44,831	7.9%
(2)償還金	947,708	947,708	0	0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,056,262	△ 1,112,721	△ 56,459	5.3%

(注)表中の数値について、僅々に四捨五入をしている関係上、合計値及び差引値が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

令和3年3月31日現在

区 分		R2決算(ア)	R2当初 予算(イ)	中期計画	R1決算	当初予算対比 (ア)-(イ)	当初予算対比
入 院	年間入院患者延数(人)	92,679	105,632	105,774	105,153	△ 12,953	87.7%
	金額(千円)	5,634,696	6,181,737	5,666,319	5,945,973	△ 547,041	91.2%
	患者一人当たりの診療収入	60,798円	58,521円	53,570円	56,546円	2,277円	103.9%
	平均在院日数(日)	15.3	—	—	16.0		
外 来	病床稼働率	66.3%	75.6%	75.7%	75.0%		87.7%
	年間外来患者延数(人)	80,883	87,261	88,084	86,645	△ 6,378	92.7%
	金額(千円)	4,102,651	3,869,615	3,592,208	3,926,052	233,036	106.0%
	患者一人当たりの診療収入	50,723円	44,345円	40,782円	45,312円	6,378円	114.4%
計	平均通院日数(日)	16.5	—	—	14.8		
	延べ患者数(人)	173,562	192,893	193,858	191,798	△ 19,331	89.98%
	金額(千円)	9,737,347	10,051,352	9,258,527	9,872,025	△ 314,005	96.88%

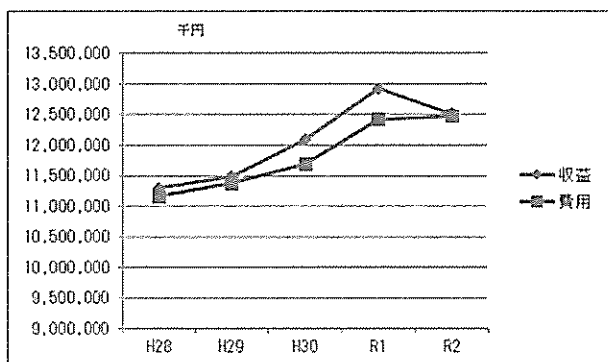
- ・入院診療日数 令和2年度 365日 令和元年度 366日
- ・外来診療日数 令和2年度 243日 令和元年度 242日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年間延病床数(許可病床383床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

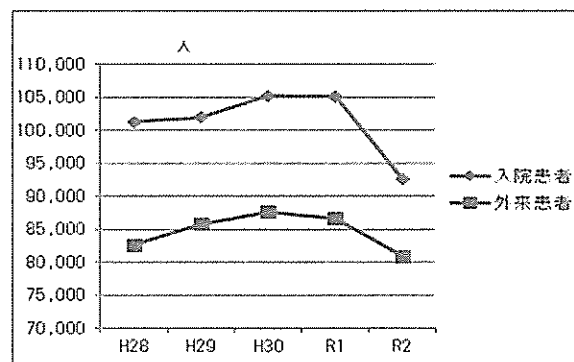
(単位:千円)

	R2決算 (A)	R2当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R2補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	R1決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,842,328	△ 1,595,756	△ 246,572	-15.5%	△ 2,011,480	169,152	8.4%	△ 1,673,052	△ 169,276	-10.1%
営業損益	60,887	192,917	△ 132,030	-68.4%	△ 99,932	160,819	160.9%	526,856	△ 465,969	-88.4%
経常損益	38,590	169,504	△ 130,914	-77.2%	△ 129,771	168,361	129.7%	497,838	△ 459,247	-92.2%
純損益	38,590	169,503	△ 130,913	-77.2%	△ 129,771	168,361	129.7%	497,838	△ 459,247	-92.2%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総損益	38,590	169,503	△ 130,913	-77.2%	△ 129,771	168,361	129.7%	497,838	△ 459,247	-92.2%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



ハ 本部事務局

営業収益については、30,189千円となり、当初予算と比較すると1,702千円の減となりました。これは、委託費の執行残額分の運営費負担金の返還によるものです。

営業費用については、192,409千円となり、当初予算と比較すると19,881千円の減となりました。これは、任期付職員が1名減となったことや、時間外勤務手当等の減などによるものです。

この結果、営業損益は▲162,220千円となり、営業外収益等を加えた経常損益は

▲152,052千円となりました。これに、臨時利益等加えた当年度純損益は▲151,837千円となり、当初予算と比較すると、37,463千円の改善となりました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】本部事務局 (単位:千円)

科目	R2予算(ア)	R2決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	31,891	30,189	△ 1,702	△ 5.3%
1 営業収益	0	0	0	0.0%
(1)入院収益	0	0	0	0.0%
(2)外来収益	0	0	0	0.0%
(3)その他医業収益	0	0	0	0.0%
2 運営費負担金収益	7,664	5,934	△ 1,730	△ 22.6%
3 資産戻返運営費負担金戻入	23,738	23,738	0	0.0%
4 その他	489	517	28	5.7%
II 営業費用(B)	212,290	192,409	△ 19,881	△ 9.4%
1 営業費用	5,790	2,829	△ 2,961	△ 51.1%
(1)給与費	0	0	0	0.0%
(2)材料費	0	0	0	0.0%
(3)経費	0	0	0	0.0%
(4)減価償却費	0	0	0	0.0%
(5)研究研控費	5,790	2,829	△ 2,961	△ 51.1%
2 一般管理費	206,002	188,710	△ 17,292	△ 8.4%
3 その他	498	870	372	74.7%
営業損(△)益	△ 180,399	△ 162,220	18,179	10.1%
III 営業外収益(D)	25,188	26,966	1,778	7.1%
1 運営費負担金収益	25,188	25,188	0	0.0%
2 その他	0	1,778	1,778	0.0%
IV 営業外費用(E)	34,089	16,798	△ 17,291	△ 50.7%
(1)財務費用(支払利息)	62	5	△ 57	△ 92.0%
(2)その他	34,027	16,793	△ 17,234	△ 50.6%
経常損(△)益	△ 189,300	△ 152,052	37,248	19.7%
V 臨時利益(G)	0	215	215	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	0	0	0.0%
当年度純損(△)益	△ 189,300	△ 151,837	37,463	19.8%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	△ 189,300	△ 151,837	37,463	19.8%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	91,800	88,100	△ 3,700	△ 4.0%
(1)長期借入金	91,800	88,100	△ 3,700	△ 4.0%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	129,273	125,647	△ 3,626	△ 2.8%
(1)建設改良費	92,729	89,103	△ 3,626	△ 3.9%
(2)償還金	36,544	36,544	△ 0	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 37,473	△ 37,547	△ 74	△ 0.2%

(注)表中の数値について、四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 予算額に対する比較表(税込)

(単位:千円)

	R2決算(A)	R2当初予算(B)	増減・A-B	増減率	R2補正予算(C)	増減A-C	増減率	R1決算(D)	増減A-D	増減率
医業損益	△ 2,829	△ 5,790	2,961	51.1%	△ 2,492	△ 337	-13.5%	△ 1,805	△ 1,024	-56.7%
営業損益	△ 162,220	△ 180,399	18,179	10.1%	△ 164,726	2,506	1.5%	△ 170,531	8,311	4.9%
経常損益	△ 152,052	△ 189,300	37,248	19.7%	△ 172,746	20,694	12.0%	△ 147,287	△ 4,765	-3.2%
純損益	△ 151,837	△ 189,300	37,463	19.8%	△ 172,528	20,691	12.0%	△ 12,630	△ 139,207	-1102.2%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 151,837	△ 189,300	37,463	19.8%	△ 172,528	20,691	12.0%	△ 12,630	△ 139,207	-1102.2%

二 宮城県立病院機構全体

医業収益については、11,874,433千円となり、当初予算と比較し440,164千円の減となりました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、両病院において入院収益が大きく減少したことが主な要因です。

医業費用については、14,772,943千円となり、当初予算と比較し168,370千円の減となりました。これは、がんセンターにおいて、外来化学療法等が増加し、薬品等の材料費が増加したものの、時間外勤務手当の減少や賃金の執行残などにより給与費が減少、食事療養業務などの委託費が減少、各種学会や研修が中止またはオンライン開催となったことなどにより研修研究費が減少したことが主な要因です。

営業外収益については、164,985千円となり、当初予算と比較し△4,940千円、営業外費用については、166,287千円となり、当初予算と比較し△23,265千円となりました。

この結果、経常損益は、△88,328千円となり、当初予算と比較し△90,839千円の減となりました。さらに、臨時損失等を加えた当年度純損益は△88,095千円となり、当初予算と比較すると△90,604千円の減となりました。

なお、資本的収支は、精神医療センターの大規模修繕次年度繰り越し等により、資本収入が826,772千円となり、当初予算と比較し△319,328千円の減、資本支出が2,140,246千円となり、当初予算と比較し△275,982千円の減となりました。

図表1【決算報告書(予算対比,税込)】宮城県立病院機構全体 (単位:千円)

科目	R2予算(ア)	R2決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	15,661,950	15,379,345	△ 282,605	△ 1.8%
1 医業収益	12,314,597	11,874,433	△ 440,164	△ 3.6%
(1)入院収益	7,700,651	7,054,137	△ 646,514	△ 8.4%
(2)外来収益	4,184,734	4,396,698	211,964	5.1%
(3)その他医業収益	429,212	423,598	△ 5,614	△ 1.3%
2 運営費負担金収益	2,558,347	2,538,801	△ 19,546	△ 0.8%
3 資産見返運営費負担金戻入	753,881	753,881	0	0.0%
4 その他	35,125	212,230	177,105	504.2%
II 営業費用(B)	15,639,812	15,466,371	△ 173,441	△ 1.1%
1 医業費用	14,941,313	14,772,943	△ 168,370	△ 1.1%
(1)給与費	7,267,476	7,108,093	△ 159,383	△ 2.2%
(2)材料費	3,987,032	4,136,267	149,235	3.7%
(3)経費	2,451,975	2,355,914	△ 96,061	△ 3.9%
(4)減価償却費	1,043,968	1,035,009	△ 8,959	△ 0.9%
(5)研究研修費	190,862	137,660	△ 53,202	△ 27.9%
2 一般管理費	206,002	188,710	△ 17,292	△ 8.4%
3 その他	492,497	504,718	12,221	2.5%
営業損(△)益	22,138	△ 87,026	△ 109,164	△ 493.1%
III 営業外収益(D)	169,925	164,985	△ 4,940	△ 2.9%
1 運営費負担金収益	96,664	96,664	0	0.0%
2 その他	73,261	68,321	△ 4,940	△ 6.7%
IV 営業外費用(E)	189,552	166,287	△ 23,265	△ 12.3%
(1)財務費用(支払利息)	87,645	85,676	△ 1,969	△ 2.2%
(2)その他	101,907	80,610	△ 21,297	△ 20.9%
経常損(△)益	2,511	△ 88,328	△ 90,839	△ 3617.6%
V 臨時利益(G)	0	232	232	0.0%
VI 臨時損失(H)	2	0	△ 2	△ 96.8%
当年度純損(△)益	2,509	△ 88,095	△ 90,604	△ 3611.2%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	2,509	△ 88,095	△ 90,604	△ 3611.2%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,146,100	826,772	△ 319,328	△ 27.9%
(1)長期借入金	1,146,100	814,100	△ 332,000	△ 29.0%
(2)その他	0	12,672	12,672	0.0%
II 資本支出(b)	2,416,228	2,140,246	△ 275,982	△ 11.4%
(1)建設改良費	1,287,116	1,011,135	△ 275,981	△ 21.4%
(2)償還金	1,129,112	1,129,111	△ 1	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,270,128	△ 1,313,474	△ 43,346	△ 3.4%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

令和 3 年 3 月 3 1 日現在

区 分		R2決算 (ア)	R2当初 (イ)	中期計画	R1決算	当初予算対比 (ア) - (イ)	当初予算対比
入院	年間入院患者延数(人)	154,265	173,157	174,394	170,316	△ 18,892	89.09%
	金額 (千円)	7,054,137	7,700,651	7,270,285	7,406,516	△ 646,514	91.60%
	患者一人当たりの診療収入	45,727	44,472	41,689	43,487	1,255	102.82%
外来	年間外来患者延数(人)	116,514	125,801	126,102	123,258	△ 9,287	92.62%
	金額 (千円)	4,396,698	4,184,734	3,904,424	4,222,553	211,964	105.07%
	患者一人当たりの診療収入	37,735	33,265	30,962	34,258	4,471	113.44%
計	延べ患者数(人)	270,779	298,958	300,496	293,574	△ 28,179	90.57%
	金額 (千円)	11,450,835	11,885,385	11,174,709	11,629,069	△ 434,550	96.34%

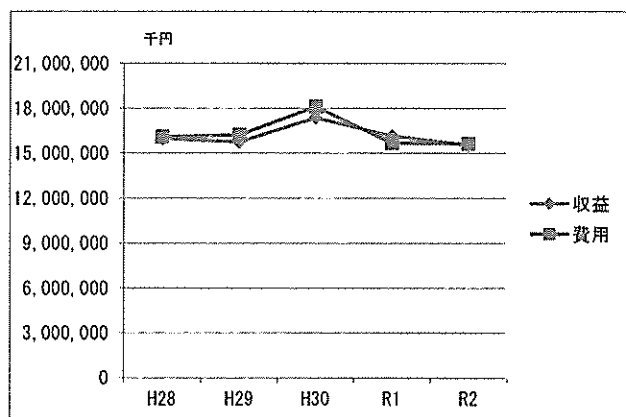
- ・ 入院診療日数 令和 2 年度 365 日 令和元年度 366 日
- ・ 外来診療日数 令和 2 年度 243 日 令和元年度 242 日
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益 ÷ 年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益 ÷ 年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

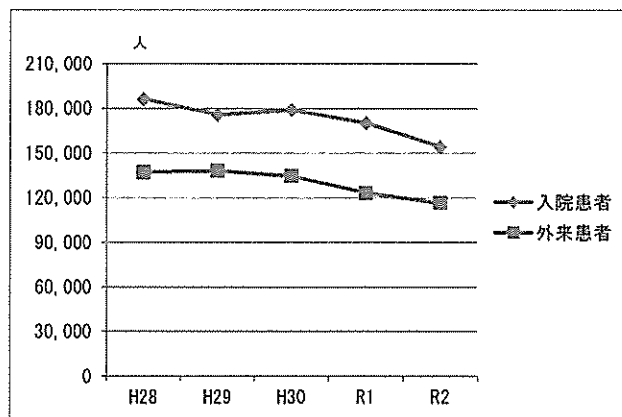
(単位: 千円)

	R2決算 (A)	R2当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	R2補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	R1決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 2,898,510	△ 2,626,716	△ 271,794	-10.3%	△ 3,122,789	224,279	7.2%	△ 2,705,122	△ 193,388	-7.1%
営業損益	△ 87,027	22,138	△ 109,165	-493.1%	△ 320,986	233,959	72.9%	313,847	△ 400,874	-127.7%
経常損益	△ 88,328	2,511	△ 90,839	-3617.6%	△ 349,101	260,773	74.7%	319,317	△ 407,645	-127.7%
純損益	△ 88,096	2,509	△ 90,605	-3611.2%	△ 348,884	260,788	74.7%	453,974	△ 542,070	-119.4%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 88,096	2,509	△ 90,605	-3611.2%	△ 348,884	260,788	74.7%	453,974	△ 542,070	-119.4%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移



※図表 3～図表 5 の R1 実績は循環器・呼吸器病センターを除く



Miyagi Psychiatric Center

宮城県立精神医療センター



Miyagi Cancer Center

宮城県立がんセンター

決算報告書

令和2年度

(第10期事業年度)

自 令和2年4月 1 日

至 令和3年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

令和2年度決算報告書

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

区分	当初予算額	決算額	差額 (決算額-当初予算額)	備考
収入				
営業収益	15,661,950,000	15,379,345,471	△ 282,604,529	
医業収益	12,314,597,000	11,874,433,077	△ 440,163,923	新型コロナウイルス感染症に伴う入院・外来患者数の減
運営費負担金	2,558,347,000	2,538,801,382	△ 19,545,618	令和2年度の精算分による減
資産見返運営費負担金戻入	753,881,000	753,881,000	0	
その他営業収益	35,125,000	212,230,012	177,105,012	新型コロナウイルス感染症に伴う補助金の増
営業外収益	169,925,000	164,985,054	△ 4,939,946	
運営費負担金	96,664,000	96,664,000	0	
その他営業外収益	73,261,000	68,321,054	△ 4,939,946	院内保育所収益や受託研究治験協力費の減等
臨時利益	0	232,296	232,296	循環Cの過年度医業収入の入金による増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	1,146,100,000	826,772,110	△ 319,327,890	
運営費負担金	0	0	0	
長期借入金	1,146,100,000	814,100,000	△ 332,000,000	精神Cの大規模修繕事業の翌年度以降への繰越等による減
その他資本収入	0	12,672,110	12,672,110	
計	16,977,975,000	16,371,334,931	△ 606,640,069	
支出				
営業費用	15,639,812,000	15,466,371,462	△ 173,440,538	
医業費用	14,941,313,000	14,772,943,043	△ 168,369,957	
給与費	7,267,476,000	7,108,092,641	△ 159,383,359	時間外手当の減少や有期雇用職員 の未採用等による賃金の減等
材料費	3,987,032,000	4,136,266,589	149,234,589	がんCにて外来診療にて高額薬剤の 使用が増えたことによる増
経費	2,451,975,000	2,355,914,218	△ 96,060,782	費用の節減に努めたことや契約請差 等による減
減価償却費	1,043,968,000	1,035,009,209	△ 8,958,791	
研究研修費	190,862,000	137,660,386	△ 53,201,614	新型コロナウイルス感染症に伴い、学 会等が中止となったことによる減
一般管理費	206,002,000	188,710,382	△ 17,291,618	
給与費	155,665,000	142,866,355	△ 12,798,645	
経費	30,187,000	24,326,535	△ 5,860,465	費用の節減に努めたことや契約請差 等による減
減価償却費	20,150,000	21,517,492	1,367,492	
消費税及び地方消費税	24,843,000	24,503,500	△ 339,500	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	60,433,000	57,684,858	△ 2,748,142	
控除対象外消費税	407,221,000	422,529,679	15,308,679	材料費の増加による増
営業外費用	189,552,000	166,286,635	△ 23,265,365	予備費の減
臨時損失	2,000	65	△ 1,935	
資本支出	2,416,228,000	2,140,246,107	△ 275,981,893	
建設改良費	1,287,116,000	1,011,134,996	△ 275,981,004	精神C大規模修繕等の翌年度以降へ の繰越による減
償還金	1,129,112,000	1,129,111,111	△ 889	
その他資本支出	0	0	0	
計	18,245,594,000	17,772,904,269	△ 472,689,731	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和2年度決算報告書

【精神医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決算額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	3,042,959,000	2,951,225,273	△ 91,733,727	
医業収益	1,973,589,000	1,851,206,040	△ 122,382,960	新型コロナウイルス感染症に伴う入院・外来患者数の減
運営費負担金	962,827,000	953,644,000	△ 9,183,000	令和2年度の精算分による減
資産見返運営費負担金戻入	98,786,000	98,786,000	0	
その他営業収益	7,757,000	47,589,233	39,832,233	新型コロナウイルス感染症に伴う補助金の増
営業外収益	22,384,000	20,273,237	△ 2,110,763	
運営費負担金	11,530,000	11,530,000	0	
その他営業外収益	10,854,000	8,743,237	△ 2,110,763	
臨時利益	0	17,240	17,240	
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	596,100,000	292,100,000	△ 304,000,000	
長期借入金	596,100,000	292,100,000	△ 304,000,000	大規模修繕事業の翌年度以降への繰越による減
その他資本収入	0	0	0	
計	3,661,443,000	3,263,615,750	△ 397,827,250	
支出				
営業費用	3,033,339,000	2,936,919,148	△ 96,419,852	
医業費用	2,998,759,000	2,904,559,139	△ 94,199,861	
給与費	2,087,119,000	2,044,099,663	△ 43,019,337	時間外手当の減少や有期雇用職員の未採用等による賃金の減等
材料費	142,804,000	138,408,037	△ 4,395,963	入院・外来患者数の減に伴う減
経費	571,387,000	539,801,681	△ 31,585,319	費用の節減に努めたことや契約請差等による減
減価償却費	182,334,000	175,638,147	△ 6,695,853	
研究研修費	15,115,000	6,611,611	△ 8,503,389	新型コロナウイルス感染症に伴い、学会等が中止となったことによる減
消費税及び地方消費税	7,346,000	7,789,663	443,663	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	9,507,000	7,940,828	△ 1,566,172	
控除対象外消費税	17,727,000	16,629,518	△ 1,097,482	
営業外費用	9,697,000	9,445,558	△ 251,442	
臨時損失	1,000	11	△ 989	
資本支出	772,493,000	455,305,652	△ 317,187,348	
建設改良費	627,633,000	310,446,327	△ 317,186,673	大規模修繕事業の翌年度以降への繰越による減
償還金	144,860,000	144,859,325	△ 675	
計	3,815,530,000	3,401,670,369	△ 413,859,631	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和2年度決算報告書

【がんセンター】

(単位:円)

区分	当初予算額	決算額	差額 (決算額-当初予算額)	備考
収入				
営業収益	12,587,100,000	12,397,931,094	△ 189,168,906	
医業収益	10,341,008,000	10,023,227,037	△ 317,780,963	新型コロナウイルス感染症に伴う入院・外来患者数の減
運営費負担金	1,587,856,000	1,579,223,382	△ 8,632,618	令和2年度の精算分による減
資産見返運営費負担金戻入	631,357,000	631,357,000	0	
その他営業収益	26,879,000	164,123,675	137,244,675	新型コロナウイルス感染症に伴う補助金の増
営業外収益	122,353,000	117,746,184	△ 4,606,816	
運営費負担金	59,946,000	59,946,000	0	
その他営業外収益	62,407,000	57,800,184	△ 4,606,816	院内保育所収益や受託研究治験協力費の減等
臨時利益	0	0	0	
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	458,200,000	446,572,110	△ 11,627,890	
長期借入金	458,200,000	433,900,000	△ 24,300,000	契約請差等による減
その他資本収入	0	12,672,110	12,672,110	新型コロナウイルス感染症に伴う補助金の増
計	13,167,653,000	12,962,249,388	△ 205,403,612	
支出				
営業費用	12,394,183,000	12,337,043,620	△ 57,139,380	
医業費用	11,936,764,000	11,865,555,388	△ 71,208,612	
給与費	5,180,357,000	5,063,992,978	△ 116,364,022	時間外手当の減少や有期雇用職員の未採用等による賃金の減等
材料費	3,844,228,000	3,997,858,552	153,630,552	外来診療にて高額薬剤の使用が増えたことによる増
経費	1,880,588,000	1,816,112,537	△ 64,475,463	費用の節減に努めたことや契約請差等による減
減価償却費	861,634,000	859,371,062	△ 2,262,938	
研究研修費	169,957,000	128,220,259	△ 41,736,741	新型コロナウイルス感染症に伴い、学会等が中止となったことによる減
消費税及び地方消費税	17,497,000	16,689,334	△ 807,666	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	50,466,000	48,900,508	△ 1,565,492	
控除対象外消費税	389,456,000	405,898,390	16,442,390	材料費の増加による増
営業外費用	145,766,000	140,043,191	△ 5,722,809	企業債の支払利息の確定による減
臨時損失	1,000	54	△ 946	
資本支出	1,514,462,000	1,559,293,045	44,831,045	
建設改良費	566,754,000	611,585,209	44,831,209	新型コロナウイルス感染症に伴う補助金購入分等の増
償還金	947,708,000	947,707,836	△ 164	
計	14,054,412,000	14,036,379,910	△ 18,032,090	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

令和2年度決算報告書

【本部】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	31,891,000	30,189,104	△ 1,701,896	
運営費負担金	7,664,000	5,934,000	△ 1,730,000	令和2年度の精算分による減
資産見返運営費負担金戻入	23,738,000	23,738,000	0	
その他営業収益	489,000	517,104	28,104	
営業外収益	25,188,000	26,965,633	1,777,633	
運営費負担金	25,188,000	25,188,000	0	
その他営業外収益	0	1,777,633	1,777,633	
臨時利益	0	215,056	215,056	循呼Cの過年度医業収入の入金による増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	91,800,000	88,100,000	△ 3,700,000	
長期借入金	91,800,000	88,100,000	△ 3,700,000	契約請差等による減
その他資本収入	0	0	0	
計	148,879,000	145,469,793	△ 3,409,207	
支出				
営業費用	212,290,000	192,408,694	△ 19,881,306	
医業費用	5,790,000	2,828,516	△ 2,961,484	
経費	0	0	0	
研究研修費	5,790,000	2,828,516	△ 2,961,484	新型コロナウイルス感染症に伴い、学会等が中止となったことによる減
一般管理費	206,002,000	188,710,382	△ 17,291,618	
給与費	155,665,000	142,866,355	△ 12,798,645	時間外手当等の減
経費	30,187,000	24,326,535	△ 5,860,465	費用の節減に努めたことや契約請差等による減
減価償却費	20,150,000	21,517,492	1,367,492	
消費税及び地方消費税	0	24,503	24,503	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	460,000	843,522	383,522	
控除対象外消費税	38,000	1,771	△ 36,229	
営業外費用	34,089,000	16,797,886	△ 17,291,114	予備費の減
臨時損失	0	0	0	
資本支出	129,273,000	125,647,410	△ 3,625,590	
建設改良費	92,729,000	89,103,460	△ 3,625,540	契約請差等による減
償還金	36,544,000	36,543,950	△ 50	
その他資本支出	0	0	0	
計	375,652,000	334,853,990	△ 40,798,010	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

監 査 報 告

地方独立行政法人宮城県立病院機構

理事長 荒井 陽 一 殿

地方独立行政法人法（以下「地独法」という。）第13条第4項の規定に基づき、地方独立行政法人宮城県立病院機構（以下「法人」という。）の第10期事業年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、損失の処理に関する書類（案）、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、理事長、副理事長、理事、職員（以下「役職員」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、役職員等からその職務執行状況についての報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び各病院において業務、財産の状況を調査した。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。


II 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の達成に向けて実施されているものと認める。
- 2 役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事項は認められない。
- 3 財務諸表（貸借対照表、損益計算書、損失の処理に関する書類（案）、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及びこれらの附属明細書）は法令等に適合し、法人の財政状況、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に表示しているものと認める。
- 4 決算報告書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。
- 5 事業報告書は、法人の運営状況を正しく示しているものと認める。

令和3年6月9日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

監事

伊藤 和彦 

監事

小しかほる 